

II 調査結果の概要

II 調査結果の概要

1 回答者の基本属性

図表1 性、年代、就業形態別回答者割合

(%)

性、年代	総数	正社員	非正社員	パート					役員・雇用主	自営業主・家族従業者等	無業	無回答
				パート	アルバイト	派遣会社 の派遣社員	契約社員・嘱託	その他				
男女計	100.0 (N=4,939)	36.3	23.9	11.5	4.0	2.0	4.2	2.1	5.6	9.3	23.4	1.6
20代	100.0 (N=632)	44.1	32.1	6.5	13.6	3.6	7.0	1.4	0.8	2.8	18.2	1.9
30代	100.0 (N=1,029)	46.2	20.7	10.6	3.1	2.9	2.3	1.7	2.7	5.6	23.6	1.2
40代	100.0 (N=1,106)	45.4	25.4	15.1	2.5	2.4	3.3	2.2	5.4	7.8	14.6	1.4
50代	100.0 (N=1,343)	34.7	21.6	13.0	2.2	0.7	3.6	2.0	8.6	12.2	21.1	1.7
60代	100.0 (N=829)	8.6	23.0	9.3	2.9	1.1	6.8	3.0	8.3	15.8	42.5	1.8
男	100.0 (N=2,332)	55.7	13.7	1.8	3.9	1.4	4.9	1.7	9.1	9.6	10.5	1.4
20代	100.0 (N=293)	51.9	27.3	1.7	15.7	3.1	6.1	0.7	1.7	3.4	14.7	1.0
30代	100.0 (N=469)	76.1	6.4	-	1.9	1.3	2.6	0.6	4.9	6.2	5.3	1.1
40代	100.0 (N=515)	73.8	4.9	0.6	1.2	0.6	1.7	0.8	8.9	7.6	3.9	1.0
50代	100.0 (N=654)	54.4	11.3	1.7	2.4	0.9	3.8	2.4	13.0	11.9	8.1	1.2
60代	100.0 (N=401)	13.2	27.4	5.7	3.2	2.0	12.7	3.7	13.5	17.2	25.9	2.7
女	100.0 (N=2,607)	19.0	32.9	20.2	4.2	2.5	3.6	2.4	2.5	8.9	34.9	1.7
20代	100.0 (N=339)	37.5	36.3	10.6	11.8	4.1	7.7	2.1	-	2.4	21.2	2.7
30代	100.0 (N=560)	21.1	32.7	19.5	4.1	4.3	2.1	2.7	0.9	5.2	38.9	1.3
40代	100.0 (N=591)	20.6	43.3	27.7	3.7	3.9	4.6	3.4	2.4	8.0	24.0	1.7
50代	100.0 (N=689)	16.0	31.3	23.7	2.0	0.6	3.5	1.6	4.5	12.5	33.5	2.2
60代	100.0 (N=428)	4.2	18.9	12.6	2.6	0.2	1.2	2.3	3.5	14.5	57.9	0.9

図表2 性、年代、職種別回答者割合

(%)

性、年代	総数	専門・技術的職業	管理的職業	事務的職業	販売的職業	技能工等	運輸・通信的職業	保安的職業	農・林・漁業	サービスの職業	その他	無回答
20代	100.0 (N=517人)	14.5	0.4	22.4	18.8	18.0	2.7	0.8	1.4	19.1	1.0	1.0
30代	100.0 (N=786人)	20.9	1.7	22.5	15.0	20.1	3.1	1.1	1.4	12.0	0.8	1.5
40代	100.0 (N=944人)	15.1	6.6	24.2	16.6	18.5	3.8	0.8	1.8	10.1	1.2	1.3
50代	100.0 (N=1,059人)	12.5	12.0	13.8	11.2	22.4	5.3	1.1	4.1	14.8	1.2	1.6
60代	100.0 (N=477人)	8.6	6.5	7.8	13.6	22.9	3.8	2.9	10.1	17.8	3.6	2.5
男	100.0 (N=2,087人)	15.6	10.7	10.8	13.7	26.8	6.3	2.2	3.8	7.9	1.2	1.1
20代	100.0 (N=250人)	12.0	0.8	10.0	22.0	30.8	4.4	1.6	1.6	14.8	1.2	0.8
30代	100.0 (N=444人)	21.4	2.5	13.7	16.4	27.7	5.0	1.8	1.8	8.1	0.7	0.9
40代	100.0 (N=495人)	18.0	11.7	15.4	16.2	23.0	5.9	1.6	2.4	4.2	0.6	1.0
50代	100.0 (N=601人)	14.5	20.6	7.5	7.0	28.0	8.7	2.0	3.8	6.0	1.0	1.0
60代	100.0 (N=297人)	8.1	9.8	6.1	11.8	26.3	5.7	4.7	11.1	11.4	3.4	1.7
女	100.0 (N=1,696人)	13.6	0.6	28.2	16.0	12.5	1.0	0.1	2.7	21.6	1.6	2.1
20代	100.0 (N=267人)	16.9	-	34.1	15.7	6.0	1.1	-	1.1	23.2	0.7	1.1
30代	100.0 (N=342人)	20.2	0.6	33.9	13.2	10.2	0.6	0.3	0.9	17.0	0.9	2.3
40代	100.0 (N=449人)	12.0	0.9	33.9	17.1	13.6	1.6	-	1.1	16.5	1.8	1.6
50代	100.0 (N=458人)	9.8	0.7	22.1	16.8	15.1	0.9	-	4.4	26.4	1.5	2.4
60代	100.0 (N=180人)	9.4	1.1	10.6	16.7	17.2	0.6	-	8.3	28.3	3.9	3.9

図表3 性、就業形態、年代別回答者割合

(%)

性、就業形態	総数	20代	30代	40代	50代	60代
男女計	100.0(N=4,939)	12.8	20.8	22.4	27.2	16.8
正社員計	100.0(N=1,793)	15.6	26.5	28.0	26.0	4.0
非正社員計	100.0(N=1,178)	17.2	18.1	23.9	24.6	16.2
パート	100.0(N= 568)	7.2	19.2	29.4	30.6	13.6
アルバイト	100.0(N= 200)	43.0	16.0	14.0	15.0	12.0
派遣会社の派遣社員	100.0(N= 98)	23.5	30.6	26.5	10.2	9.2
契約社員・嘱託	100.0(N= 209)	21.1	11.5	17.2	23.4	26.8
その他	100.0(N= 103)	8.7	17.5	23.3	26.2	24.3
役員・雇用主	100.0(N= 278)	1.8	10.1	21.6	41.7	24.8
自営業主・家族従業者等	100.0(N= 457)	3.9	12.7	18.8	35.9	28.7
無業	100.0(N=1,156)	9.9	21.0	14.0	24.6	30.4
男	100.0(N=2,332)	12.6	20.1	22.1	28.0	17.2
正社員計	100.0(N=1,298)	11.7	27.5	29.3	27.4	4.1
非正社員計	100.0(N= 319)	25.1	9.4	7.8	23.2	34.5
パート	100.0(N= 42)	11.9	-	7.1	26.2	54.8
アルバイト	100.0(N= 90)	51.1	10.0	6.7	17.8	14.4
派遣会社の派遣社員	100.0(N= 32)	28.1	18.8	9.4	18.8	25.0
契約社員・嘱託	100.0(N= 115)	15.7	10.4	7.8	21.7	44.3
その他	100.0(N= 40)	5.0	7.5	10.0	40.0	37.5
役員・雇用主	100.0(N= 213)	2.3	10.8	21.6	39.9	25.4
自営業主・家族従業者等	100.0(N= 225)	4.4	12.9	17.3	34.7	30.7
無業	100.0(N= 245)	17.6	10.2	8.2	21.6	42.4
女	100.0(N=2,607)	13.0	21.5	22.7	26.4	16.4
正社員計	100.0(N= 495)	25.7	23.8	24.6	22.2	3.6
非正社員計	100.0(N= 859)	14.3	21.3	29.8	25.1	9.4
パート	100.0(N= 526)	6.8	20.7	31.2	31.0	10.3
アルバイト	100.0(N= 110)	36.4	20.9	20.0	12.7	10.0
派遣会社の派遣社員	100.0(N= 66)	21.2	36.4	34.8	6.1	1.5
契約社員・嘱託	100.0(N= 94)	27.7	12.8	28.7	25.5	5.3
その他	100.0(N= 63)	11.1	23.8	31.7	17.5	15.9
役員・雇用主	100.0(N= 65)	-	7.7	21.5	47.7	23.1
自営業主・家族従業者等	100.0(N= 232)	3.4	12.5	20.3	37.1	26.7
無業	100.0(N= 911)	7.9	23.9	15.6	25.4	27.2

(参考)

総務省統計局「労働力調査」の平成16年平均結果による就業形態、職業は下記のとおりである。

	総数	正社員	非正社員	パート						役員・雇用主	自営業主・家族従業者等	無業	無回答
				パート	アルバイト	派遣会社の派遣社員	契約社員・嘱託	その他	その他				
今回調査（日本人の働き方調査）	100.0(N= 4,939人)	36.3	23.9	11.5	4.0	2.0	4.2	2.1	5.6	9.3	23.4	1.6	
労働力調査 平成16年平均	100.0(N=10,969万人)	31.1	14.3	7.0	3.0	0.8	2.3	1.2	5.1	7.0	42.4		
	(参考) 20～64歳 100.0(N= 7,754万人)	42.9	18.0	9.2	3.3	1.1	3.0	1.4	5.9	6.9	26.2		

(注1) 労働力調査については15歳以上人口における就業形態の構成比。
(注2) 労働力調査の就業形態については下記のとおりに分類した。
「自営業主（雇い人あり）」＋「役員」：役員・雇用主
「自営業主（雇い人なし）」＋「内職者」＋「家族従業者」：自営業主・家族従業者等
「完全失業者」＋「非労働力人口」：無業

	総数	専門・技術的職業	管理的職業	事務的職業	販売的職業	技能工等	運輸・通信的職業	保安的職業	サービスの職業	農・林・漁業	その他	無回答
今回調査（日本人の働き方調査）	100.0(N= 3,783人)	14.7	6.2	18.6	14.7	20.4	3.9	1.2	14.0	3.3	1.4	1.5
労働力調査 平成16年平均	100.0(N=6,316万人)	14.6	3.0	19.9	14.3	28.5	3.2	11.6	4.6			
	(参考) ～64歳 100.0(N=5,829万人)	15.1	2.6	20.9	14.4	28.8	3.3	11.6	2.8			

(注1) 労働力調査については就業者における職業の構成比。
(注2) 労働力調査の職業については下記のとおりに分類した。
「製造・製作・機械運転及び建設作業者」＋「採掘作業者」＋「労務作業者」：技能工等

2 ふだん仕事をしている人についての状況

【働き方】

労働時間についての希望は、正社員の約半数は「短くしたい」、非正社員の約7割が「今のままでよい」としている。

現在の就業形態を選択した理由は、正社員では地位や安定（「収入の安定」、「正社員として働きたい」、「雇用の安定」）、非正社員ではお金や時間（「家計の補助等」、「都合の良い時間に働ける」、「通勤時間が短い」）、役員・雇用主ではやりがい（「専門的な資格等を活かせる」、「やりたい仕事ができる」、「組織にしばられない」）の割合が高くなっている。

副業については、アルバイト、派遣社員、役員・雇用主で副業をしているとする割合が約1割となっており、他の就業形態に比べて高くなっている。

【今後希望する働き方】

今後5年くらいの中に希望する働き方については、正社員の約7割が「現在の会社で現在の働き方を続けたい」としている。アルバイト、派遣社員では「別の会社で他の働き方に変わりたい」とする割合が約2~3割と他の就業形態に比べて高くなっている。

収入を伴う仕事に就業していきたいとする年齢については、正社員及び非正社員では「60代前半」、役員・雇用主では「60代後半」の割合が最も高くなっている。

【仕事に役立つ能力や知識】

あたらしい能力や知識を身につける必要度については7割が「必要である」としている。仕事に役立つ能力や知識については約8割が「高めたい」とし、約半数が「ふだんから取り組んでいる」としている。仕事に役立つ能力や知識を身につけるうえで困っていることとしては、「時間がない」、「費用が出せない」の割合が高くなっている。

【仕事上の不安や悩み、ストレス】

仕事上の不安や悩み、ストレスは約7割が感じている。正社員、役員・雇用主で「とても感じる」とする割合が高くなっている。

【仕事についての満足度】

今の仕事全体については約4割が満足としている。収入の水準では役員・雇用主、収入の安定性では正社員、労働時間や休日・休暇では非正社員、仕事内容では役員・雇用主で満足の割合が高くなっている。

ふだん、少しでも収入のある仕事をしている人（就業者）は、全体の76.6%に当たる3,783人である。ここでは、就業者についてとりあげた。就業者の性・年代別の構成は図表4のとおりである。

図表4 就業者の基本属性
(%)

総数	100.0 (3,783人)	
男性	20代	6.6
	30代	11.7
	40代	13.1
	50代	15.9
	60代	7.9
女性	20代	7.1
	30代	9.0
	40代	11.9
	50代	12.1
	60代	4.8

(1)現在の働き方

労働時間

1週間の勤務日数を就業形態別にみると、正社員では「5日」が65.5%、「6日」が26.4%、非正社員では「5日」が47.7%、「決まっていない」が15.8%、役員・雇用主では「6日」が49.6%、「5日」が20.1%となっている。

図表5 1週間の勤務日数

(%)

	総数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	決ま って い ない	無 回 答
計	100.0 (N=3,783)	0.3	1.3	2.5	3.8	49.9	25.0	3.4	13.6	0.2
正社員	100.0 (N=1,793)	-	0.1	0.3	0.7	65.5	26.4	1.3	5.4	0.2
非正社員	100.0 (N=1,178)	0.6	3.1	7.0	9.6	47.7	14.6	1.5	15.8	0.2
(パート)	100.0 (N= 568)	0.2	1.8	6.7	14.1	51.4	12.0	1.2	12.5	0.2
(アルバイト)	100.0 (N= 200)	3.0	5.0	11.5	9.0	28.5	11.5	3.0	28.5	-
(派遣会社の派遣社員)	100.0 (N= 98)	-	2.0	6.1	3.1	66.3	11.2	1.0	9.2	1.0
(契約社員・嘱託)	100.0 (N= 209)	-	3.3	2.4	5.3	56.0	23.9	1.0	8.1	-
(その他)	100.0 (N= 103)	-	6.8	9.7	1.0	30.1	19.4	1.9	31.1	-
役員・雇用主	100.0 (N= 278)	-	0.7	0.7	1.8	20.1	49.6	12.6	14.4	-
自営業主・家族従業者等	100.0 (N= 457)	0.9	1.5	0.9	1.8	13.3	31.3	10.7	39.6	-

(注)「計」には就業形態が不明の者を含む。以下同じ。

残業時間を含む1週間の労働時間について就業形態別にみると、正社員では「40～49時間」が46.1%、「50～59時間」が24.6%、「60時間以上」が18.9%となっている。非正社員では「40～49時間」が24.4%、「20～29時間」が23.3%、「20時間未満」が18.7%となっている。非正社員のうち、パートでは「20～29時間」、アルバイトでは「20時間未満」の割合が最も高くなっているのに対し、派遣社員及び契約社員・嘱託では「40～49時間」の割合が最も高くなっている。

1週平均の労働時間をみると正社員では48.4時間、非正社員では30.8時間、役員・雇用主では47.8時間などとなっている。

図表6 1週間の労働時間（残業を含む）

(%)

	総数	20時間未満	20～29時間	30～34時間	35～39時間	40～49時間	50～59時間	60時間以上	無回答	平均 (時間)
計	100.0(N=3,783)	9.9	8.8	5.5	5.6	34.8	16.3	14.4	4.7	41.8
正社員	100.0(N=1,793)	2.4	0.7	1.1	3.7	46.1	24.6	18.9	2.5	48.4
非正社員	100.0(N=1,178)	18.7	23.3	11.9	9.3	24.4	4.6	3.1	4.7	30.8
(パート)	100.0(N=568)	18.8	35.4	16.0	10.0	14.4	2.1	1.2	1.9	27.5
(アルバイト)	100.0(N=200)	32.5	18.5	11.5	5.5	16.0	4.0	3.0	9.0	26.7
(派遣会社の派遣社員)	100.0(N=98)	8.2	11.2	5.1	17.3	41.8	7.1	2.0	7.1	36.7
(契約社員・嘱託)	100.0(N=209)	9.6	4.8	8.1	8.6	47.4	10.0	7.7	3.8	39.5
(その他)	100.0(N=103)	19.4	15.5	3.9	5.8	33.0	5.8	5.8	10.7	33.4
役員・雇用主	100.0(N=278)	10.1	2.9	3.6	2.9	27.0	22.7	25.9	5.0	47.8
自営業主・家族従業者等	100.0(N=457)	16.4	6.6	7.9	4.8	21.7	10.9	19.5	12.3	40.6

1週間の残業時間を、就業形態別にみると、正社員では「0時間」が25.2%、「9～10時間以下」が16.9%、「5～6時間以下」が13.5%となっている。非正社員では「0時間」が61.0%となっている。1週間の残業時間の平均をみると正社員では7.5時間、非正社員では2.1時間となっている。

図表7 1週間の残業時間（残業時間があてはまる者が回答）

(%)

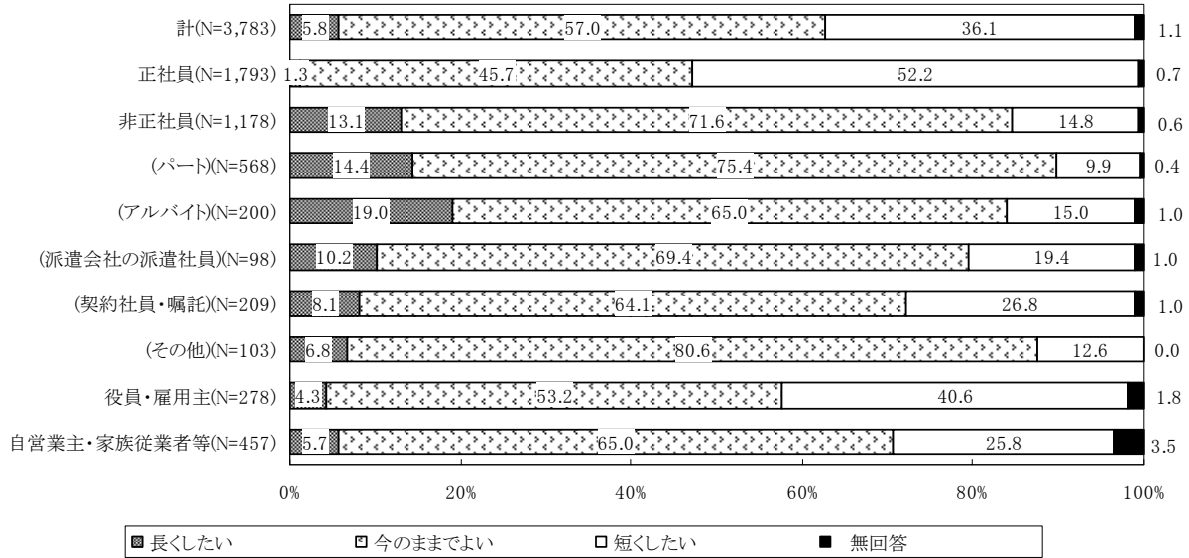
	総数	0時間	1～2時間 以下	3～4時間 以下	5～6時間 以下	7～8時間 以下	9～10時間 以下	11～12時 間以下
計	100.0(N=2,281)	39.1	11.6	6.1	11.8	4.2	12.0	2.8
正社員	100.0(N=1,390)	25.2	10.1	6.5	13.5	5.8	16.9	3.7
非正社員	100.0(N=702)	61.0	15.7	5.7	9.5	1.3	3.7	0.9
(パート)	100.0(N=344)	68.9	16.3	4.7	7.8	0.3	1.5	0.3
(アルバイト)	100.0(N=108)	71.3	8.3	6.5	4.6	-	3.7	-
(派遣会社の派遣社員)	100.0(N=69)	36.2	23.2	10.1	18.8	4.3	2.9	1.4
(契約社員・嘱託)	100.0(N=134)	43.3	17.9	6.0	13.4	2.2	9.7	3.0
(その他)	100.0(N=47)	66.0	10.6	4.3	8.5	4.3	4.3	-
役員・雇用主	100.0(N=75)	56.0	8.0	2.7	8.0	2.7	8.0	8.0
自営業主・家族従業者等	100.0(N=76)	76.3	3.9	3.9	2.6	-	3.9	-

図表7 続き

	総数	13～14時 間以下	15～16時 間以下	17～18時 間以下	19～20時 間以下	20時間超	平均 (時間)
計	100.0(N=2,281)	0.7	3.3	1.2	3.8	3.4	5.5
正社員	100.0(N=1,390)	1.2	5.3	1.7	5.8	4.5	7.5
非正社員	100.0(N=702)	-	0.4	0.1	0.7	1.0	2.1
(パート)	100.0(N=344)	-	-	-	-	0.3	1.1
(アルバイト)	100.0(N=108)	-	0.9	-	1.9	2.8	2.4
(派遣会社の派遣社員)	100.0(N=69)	-	-	-	-	2.9	3.2
(契約社員・嘱託)	100.0(N=134)	-	1.5	0.7	1.5	0.7	3.9
(その他)	100.0(N=47)	-	-	-	2.1	-	1.9
役員・雇用主	100.0(N=75)	-	-	-	1.3	5.3	4.8
自営業主・家族従業者等	100.0(N=76)	1.3	-	1.3	1.3	5.3	3.4

労働時間の希望について就業形態別にみると、正社員では「短くしたい」が52.2%、「今のままでよい」が45.7%となっている。非正社員では「今のままでよい」が全体で71.6%となっているが、そのうち、アルバイトでは「長くしたい」が19.0%となっており、他の就業形態と比べて高い（パートでも14.4%）。

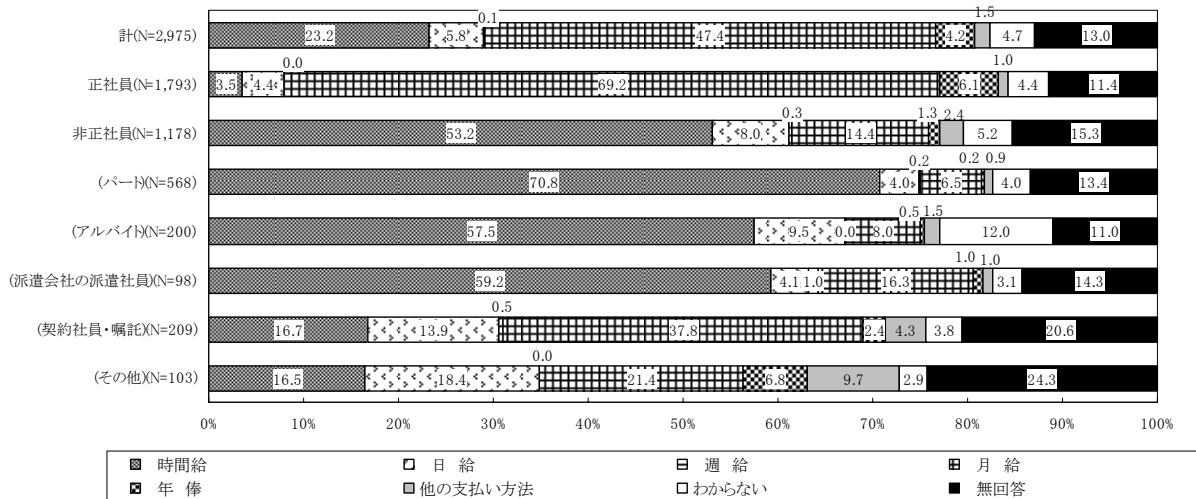
図表8 労働時間の希望



賃金

雇われて働いていると回答した者について、賃金の支払い方を就業形態別にみると、正社員では「月給」が69.2%、非正社員では「時間給」が53.2%とそれぞれ最も高い。なお、「年俸」については、正社員では6.1%、非正社員では1.3%となっている。

図表9 賃金の支払い方式(雇われて働いていると回答した者)



「月給」の場合のおおよその金額をみると、「20～25万円未満」が14.4%、「15～20万円未満」が14.0%、「30～35万円未満」が13.9%となっており、平均では30.5万円である。

正社員についてみると、「30～35万円未満」が15.4%、「20～25万円未満」が14.4%、「15～20万円未満」が13.1%となっており、平均では32.3万円である。

非正社員についてみると、「15万円未満」が41.2%、「15～20万円未満」が20.6%となっており、平均では18.1万円である。非正社員のうち、パート、アルバイトでは「15万円未

満」の割合が最も高く、派遣社員、契約社員・嘱託では「15～20万円未満」の割合が最も高くなっている。

図表10「月給」の場合のおおよその金額

	総数	15万円未満	15～20万円未満	20～25万円未満	25～30万円未満	30～35万円未満	35～40万円未満	40～45万円未満	45～50万円未満	50万円以上	無回答	平均(万円)
計	100.0(N=1,411)	8.8	14.0	14.4	10.5	13.9	7.7	9.9	5.0	7.3	8.6	30.5
正社員	100.0(N=1,241)	4.4	13.1	14.4	10.9	15.4	8.4	10.8	5.5	8.1	9.0	32.3
非正社員	100.0(N=170)	41.2	20.6	14.1	7.6	2.9	2.4	3.5	1.2	1.2	5.3	18.1
(パート)	100.0(N=37)	83.8	8.1	-	2.7	-	-	-	-	-	5.4	8.8
(アルバイト)	100.0(N=16)	62.5	12.5	6.3	6.3	-	-	-	-	-	6.3	12.0
(派遣会社の派遣社員)	100.0(N=16)	18.8	37.5	18.8	6.3	-	12.5	-	-	-	6.3	20.1
(契約社員・嘱託)	100.0(N=79)	25.3	27.8	17.7	12.7	1.3	1.3	5.1	2.5	1.3	5.1	21.9
(その他)	100.0(N=22)	27.3	9.1	27.3	-	13.6	4.5	9.1	-	4.5	4.5	23.2

(注) 税金、社会保険料などを差し引かれる前の額。残業手当は除く。

「時間給」の場合のおおよその金額をみると、「800～900円未満」が27.6%、「700～800円未満」が25.8%となっており、平均では930円である。このうち非正社員についてみると、「800～900円未満」が28.7%、「700～800円未満」が27.3%となっており、平均では888円である。

図表11「時間給」の場合のおおよその金額

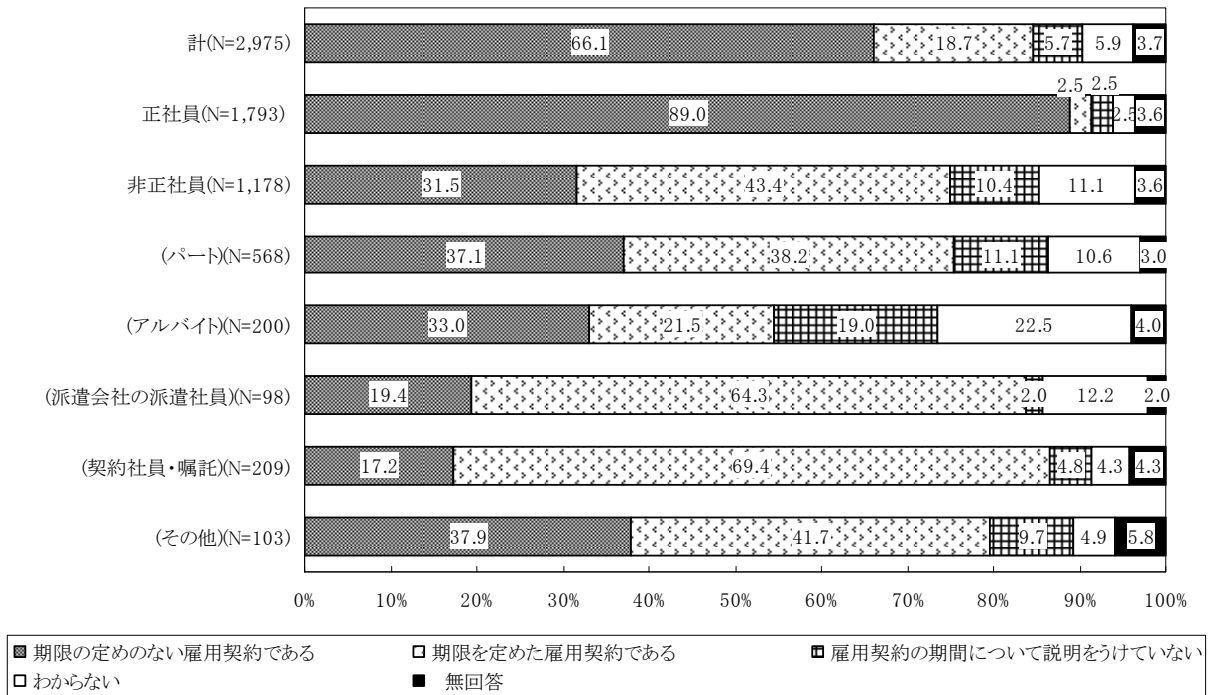
	総数	700円未満	700～800円未満	800～900円未満	900～1000円未満	1000～1200円未満	1200～1600円未満	1600円以上	無回答	平均(円)
計	100.0(N=689)	8.6	25.8	27.6	9.4	14.1	8.3	3.8	2.5	930
正社員	100.0(N=62)	11.3	11.3	16.1	6.5	19.4	12.9	19.4	3.2	1366
非正社員	100.0(N=627)	8.3	27.3	28.7	9.7	13.6	7.8	2.2	2.4	888
(パート)	100.0(N=402)	10.7	32.8	30.8	9.7	7.7	4.7	0.5	3.0	831
(アルバイト)	100.0(N=115)	6.1	25.2	33.9	10.4	19.1	1.7	2.6	0.9	873
(派遣会社の派遣社員)	100.0(N=58)	-	1.7	15.5	8.6	25.9	37.9	8.6	1.7	1159
(契約社員・嘱託)	100.0(N=35)	2.9	17.1	14.3	8.6	34.3	11.4	8.6	2.9	1087
(その他)	100.0(N=17)	5.9	17.6	17.6	11.8	29.4	11.8	5.9	-	978

(注) 税金、社会保険料などを差し引かれる前の額。残業手当は除く。

雇用契約の期間

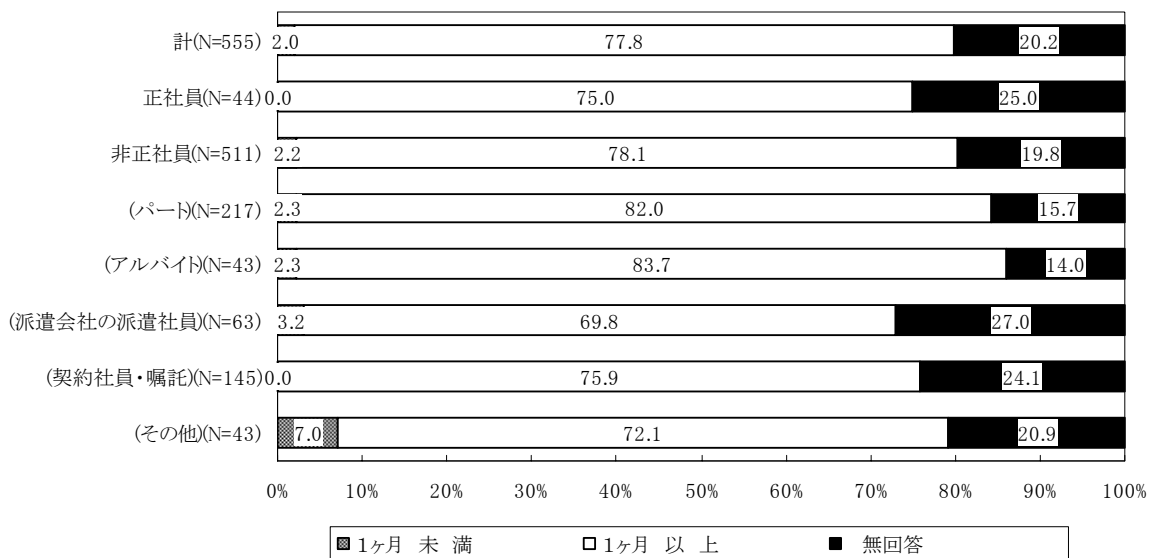
雇われて働いていると回答した者について、雇用契約の期間を就業形態別にみると、「期限を定めた雇用契約である」は、正社員で2.5%、非正社員で43.4%、「期限の定めのない雇用契約である」は、正社員で89.0%、非正社員で31.5%となっている。

図表12 雇用契約の期間(雇われて働いていると回答した者)

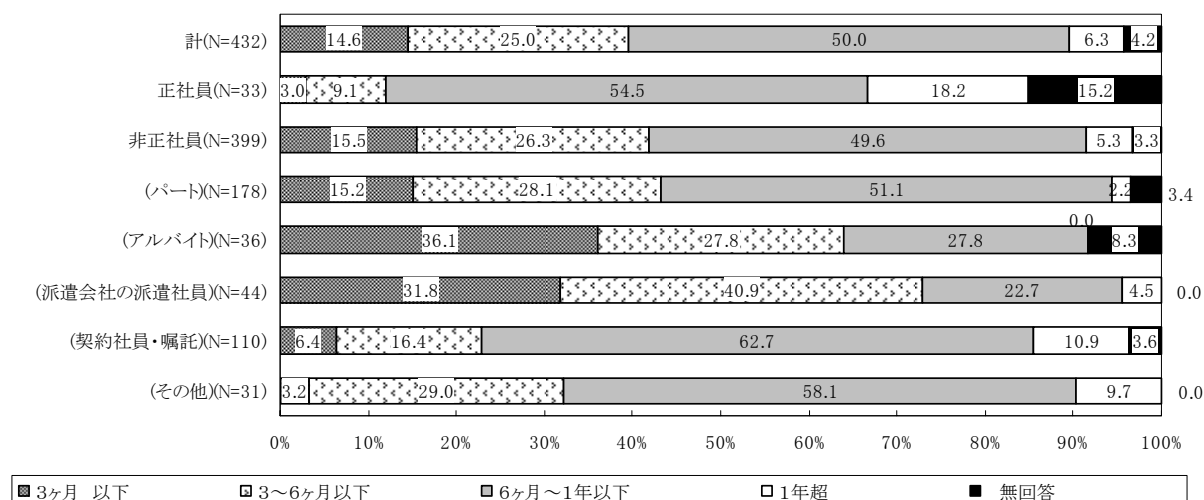


非正社員の期限を定めた雇用契約の期間は、「1ヶ月以上」が78.1%となっている。「1ヶ月以上」の場合の具体的な契約期間は、「6ヶ月～1年以下」が49.6%、「3ヶ月～6ヶ月以下」が26.3%などとなっている。

図表13 雇用契約の期間(期限を定めた雇用契約であると回答した者)



図表14 雇用契約の期間(雇用契約の期間が1ヶ月以上と回答した者)



現在の就業形態を選択した理由

現在の就業形態を選択した理由を就業形態別にみると、正社員では、「収入が安定しているから」が42.7%、「正社員として働きたかったから」が39.3%、「専門的な資格・技能を活かせるから」が36.4%、「雇用が安定しているから」が33.6%などとなっている。

非正社員では、「家計の補助、学費等を得たいから」が30.0%、「自分の都合のよい時間に働けるから」が26.7%、「通勤時間が短いから」が24.5%などとなっている。非正社員の中で、契約社員・嘱託では「専門的な資格・技能を活かせるから」が35.9%、「やりたい仕事ができるから」が21.1%、パートでは「家計の補助、学費等を得たいから」が41.2%、「通勤時間が短いから」が32.7%、アルバイトでは「自分の都合のよい時間に働けるから」が45.0%、「自分で自由に使えるお金を得たいから」が27.0%、派遣社員では「雇用が安定しているから」と「正社員として働ける会社がなかったから」がともに21.4%などとなっている。

役員・雇用主では、「専門的な資格・技能を活かせるから」が45.7%、「やりたい仕事ができるから」が32.0%、「組織にしばられないから」が21.9%となっている。

図表15 現在の就業形態を選択した理由（複数回答）

(%)

	総数	専門的な資格・技能を活かせるから	簡単な仕事で責任も少ないから	やりたい仕事ができるから	収入が安定しているから	雇用が安定しているから	収入が多いから	正社員として働きたかったから	正社員として働ける会社になかったから	組織に選ばれないから
計	100.0(N=3,783)	30.8	5.9	21.4	26.2	20.1	5.1	19.5	4.2	9.5
正社員	100.0(N=1,793)	36.4	2.1	22.3	42.7	33.6	5.1	39.3	2.0	3.0
非正社員	100.0(N=1,178)	18.3	13.4	15.0	13.2	11.3	4.8	1.5	8.6	7.8
（パート）	100.0(N= 568)	11.3	14.3	10.2	12.9	10.9	1.4	0.7	5.6	7.7
（アルバイト）	100.0(N= 200)	9.0	21.0	17.5	5.5	4.0	6.5	0.5	8.0	12.0
（派遣会社の派遣社員）	100.0(N= 98)	15.3	15.3	14.3	15.3	21.4	18.4	5.1	21.4	5.1
（契約社員・嘱託）	100.0(N= 209)	35.9	6.7	21.1	19.6	16.7	6.7	3.3	12.0	5.7
（その他）	100.0(N= 103)	41.7	5.8	25.2	14.6	6.8	3.9	1.0	6.8	6.8
役員・雇用主	100.0(N= 278)	45.7	0.0	32.0	8.3	1.8	9.0	0.4	1.8	21.9
自営業主・家族従業者等	100.0(N= 457)	32.4	4.8	28.0	5.7	1.3	4.2	0.2	2.4	32.2

図表15 続き

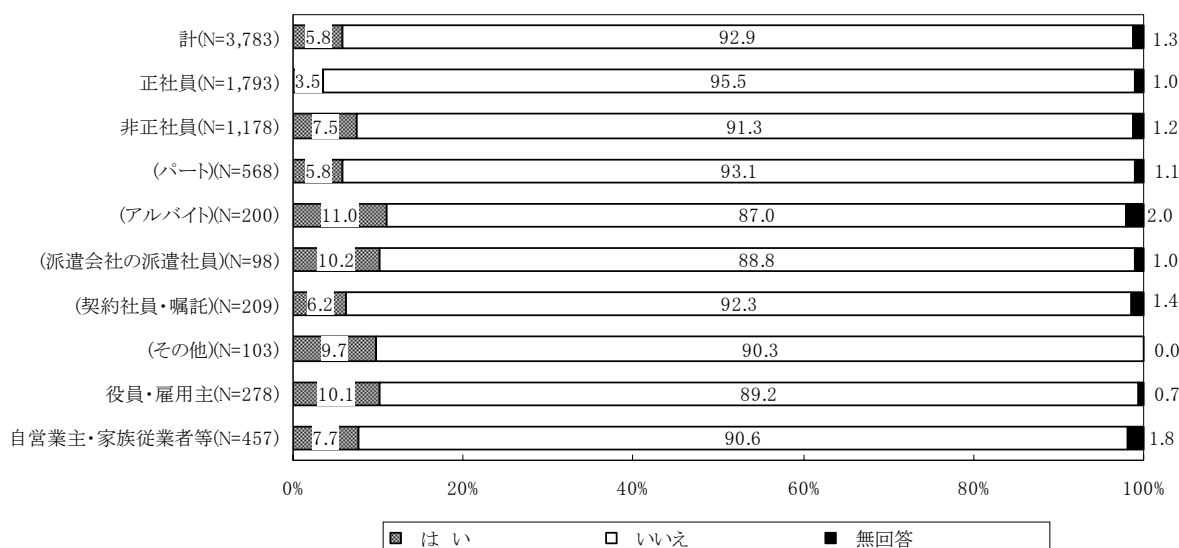
(%)

	総数	勤務時間や労働日数が短いから	自分の都合のよい時間に働けるから	年収の調整や労働時間の調整をしたから	家計の補助、学費等を得たいから	家庭の事情（家事・育児・介護等）や他の活動（趣味・学習等）と両立しやすいから	通勤時間が短いから	体力的に正社員として働けないから	自分で自由に使えるお金を得たいから	その他
計	100.0(N=3,783)	7.3	14.4	3.1	13.3	10.4	14.2	2.0	11.8	7.6
正社員	100.0(N=1,793)	2.2	1.6	0.4	5.7	3.7	12.2	0.1	5.6	3.7
非正社員	100.0(N=1,178)	17.8	26.7	7.4	30.0	19.9	24.5	4.9	21.4	6.9
（パート）	100.0(N= 568)	24.3	30.6	9.5	41.2	25.9	32.7	5.6	24.1	3.9
（アルバイト）	100.0(N= 200)	13.5	45.0	5.0	19.5	22.5	21.5	6.0	27.0	9.0
（派遣会社の派遣社員）	100.0(N= 98)	13.3	17.3	9.2	16.3	13.3	17.3	5.1	13.3	5.1
（契約社員・嘱託）	100.0(N= 209)	9.6	8.6	2.9	19.6	6.2	12.9	2.9	15.3	6.7
（その他）	100.0(N= 103)	11.7	15.5	7.8	22.3	16.5	15.5	2.9	15.5	21.4
役員・雇用主	100.0(N= 278)	1.8	12.9	1.8	2.9	7.2	3.2	1.1	8.6	18.7
自営業主・家族従業者等	100.0(N= 457)	3.1	33.0	2.8	7.2	14.9	3.7	2.2	12.9	18.6

副業

おもな仕事以外の何か収入になる仕事（副業）をしているかみると、5.8%がしているとしている。就業形態別にみると、役員・雇用主では10.1%、正社員では3.5%、非正社員では7.5%が副業をしているとしている。非正社員のうち、アルバイトや派遣会社の派遣社員では副業をしている者が約1割となっており相対的に高くなっている。

図表16 おもな仕事以外の何か収入になる仕事(副業)



(2) 今後の見込み

働き方

今後5年くらいの間に希望する働き方を現在の就業形態別にみると、正社員では「現在の会社で、現在の働き方を続けたい」が65.1%と最も高く、「別の会社で、現在の働き方を続けたい」が7.3%とこれに次いでおり、約7割が正社員という現在の働き方を続けたいとしている。

非正社員では「現在の会社で、現在の働き方を続けたい」が49.4%と最も高く、「別の会社で、他の働き方に変わりたい」が15.8%で、これに次いでいる。また、非正社員のうち、「別の会社で、他の働き方に変わりたい」とするのは、アルバイトでは32.5%、派遣社員では23.5%と、他の就業形態に比べて高くなっている。

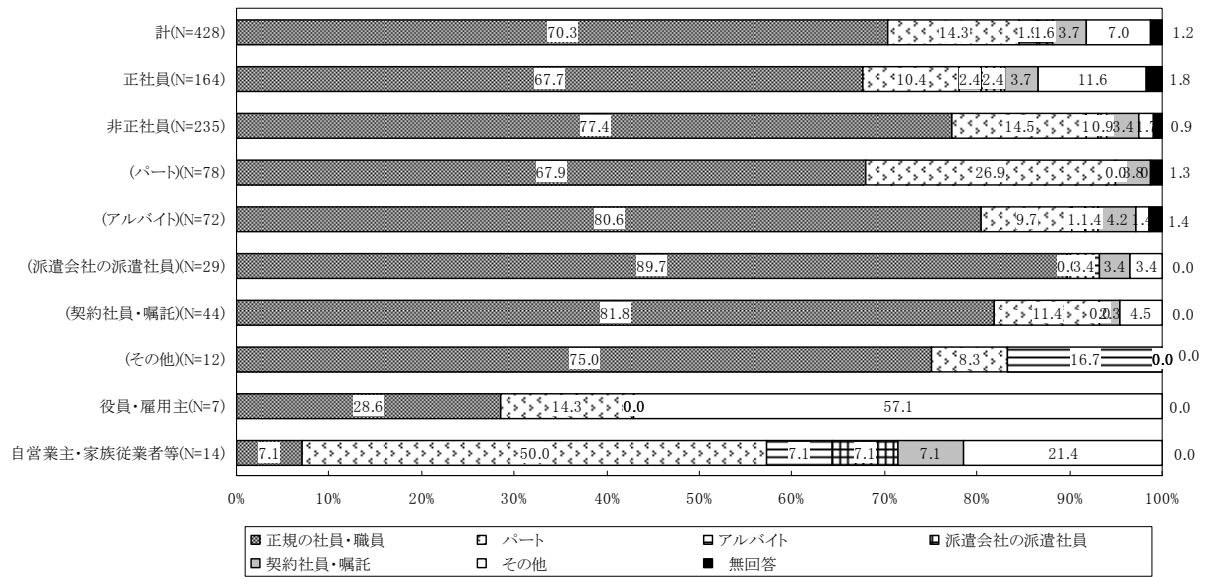
図表17 今後5年くらいの間に希望する働き方

(%)

	総数	現在の会社で、現在の働き方を続けたい	別の会社で、現在の働き方を続けたい	現在の会社で、他の働き方に変わりたい	別の会社で、他の働き方に変わりたい	独立して事業を始めたい	仕事をしばらくやめたい	仕事をすっきりやめたい	その他	特に考えていない	無回答
計	100.0(N=3,783)	57.2	5.2	2.9	8.4	3.4	1.9	2.8	1.9	14.9	1.3
正社員	100.0(N=1,793)	65.1	7.3	2.8	6.4	4.3	2.6	2.5	0.7	7.8	0.7
非正社員	100.0(N=1,178)	49.4	5.0	4.2	15.8	3.4	1.7	2.9	1.6	15.1	0.9
(パート)	100.0(N=568)	60.2	3.7	3.9	9.9	1.6	1.9	2.5	1.6	14.1	0.7
(アルバイト)	100.0(N=200)	24.5	7.0	3.5	32.5	6.0	1.0	2.5	1.0	21.5	0.5
(派遣会社の派遣社員)	100.0(N=98)	33.7	9.2	6.1	23.5	5.1	1.0	1.0	2.0	17.3	1.0
(契約社員・嘱託)	100.0(N=209)	49.8	4.8	5.3	15.8	4.8	2.9	5.3	1.9	8.6	1.0
(その他)	100.0(N=103)	52.4	4.9	2.9	8.7	3.9	-	2.9	1.9	19.4	2.9
役員・雇用主	100.0(N=278)	68.0	-	2.2	0.4	1.1	0.7	4.0	4.0	17.6	2.2
自営業主・家族従業者等	100.0(N=457)	42.2	0.9	1.1	2.0	1.3	0.7	2.6	6.3	40.0	2.8

また、非正社員で「現在の会社で、他の働き方に変わりたい」、または「別の会社で、他の働き方に変わりたい」と回答した者について、変わりたい働き方をみると、「正規の社員・職員」が77.4%と最も高い。その中を就業形態別にみると、特に、派遣社員(89.7%)、契約社員・嘱託(81.8%)、アルバイト(80.6%)で8割を超えている。

図表18 変わりたい働き方(「他の働き方に変わりたい」と回答した者)



就業したいとする年齢

何歳まで収入がある仕事をしたいかについてみると、「60～64歳」が32.6%、「65～69歳」が21.9%などとなっている。就業形態別にみると、正社員では「60～64歳」が38.4%、「65～69歳」が22.3%となっている。非正社員では「60～64歳」が31.0%、「65～69歳」が18.8%となっている。役員・雇用主では「65～69歳」が30.6%、「60～64歳」が24.5%、「70～74歳」が16.9%となっている。

なお、非正社員では、65歳以上の回答(「65～69歳」～「いつまでも」)を合計すると32.4%、役員・雇用主では、70歳以上の回答(「70～74歳」～「いつまでも」)を合計すると33.1%となっている。

図表19 就業したいとする年齢

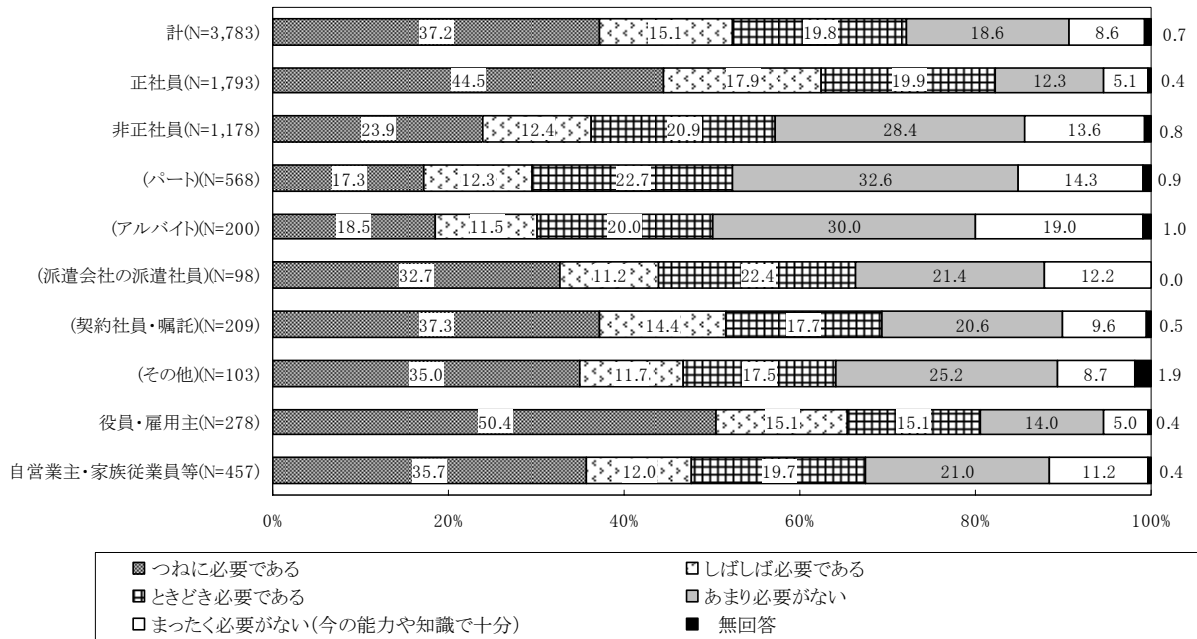
	総数	20～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	いつまでも	わからない	無回答
計	100.0(N=3,783)	0.5	0.4	0.6	0.6	1.4	3.1	13.0	32.6	21.9	5.8	1.0	0.5	11.0	6.8	0.8
正社員	100.0(N=1,793)	0.4	0.4	0.6	0.7	1.2	2.3	13.9	38.4	22.3	4.1	0.6	0.5	9.3	4.9	0.4
非正社員	100.0(N=1,178)	0.8	0.5	0.8	0.8	2.4	5.5	15.4	31.0	18.8	3.0	0.5	0.3	9.9	9.3	1.0
(パート)	100.0(N=568)	0.5	0.4	0.7	0.7	2.8	6.7	19.7	32.6	16.4	1.6	0.5	0.2	7.7	8.3	1.2
(アルバイト)	100.0(N=200)	1.0	1.5	3.0	0.5	3.0	4.5	10.0	24.5	18.0	4.0	0.5	0.5	16.0	11.0	2.0
(派遣会社の派遣社員)	100.0(N=98)	1.0	-	-	2.0	2.0	7.1	15.3	26.5	15.3	3.1	-	-	12.2	15.3	-
(契約社員・嘱託)	100.0(N=209)	1.9	0.5	-	0.5	1.4	3.3	11.5	35.9	23.4	5.3	0.5	-	8.1	7.7	-
(その他)	100.0(N=103)	-	-	-	1.0	1.0	3.9	10.7	29.1	27.2	3.9	1.0	1.0	11.7	8.7	1.0
役員・雇用主	100.0(N=278)	-	-	-	0.4	-	0.7	6.1	24.5	30.6	16.9	2.2	0.4	13.7	4.0	0.7
自営業主・家族従業者等	100.0(N=457)	-	-	0.2	-	0.4	1.3	7.2	20.4	23.4	13.3	3.1	1.3	19.0	9.6	0.7

(3) 仕事に役立つ能力や知識

あたらしい能力や知識を身につける必要

今の仕事を続けるうえで、あたらしい能力や知識を身につけることの必要度についてみると、「つねに必要である」が37.2%、「しばしば必要である」が15.1%、「ときどき必要である」が19.8%、「あまり必要がない」が18.6%となっている。これを就業形態別にみると、「つねに必要である」とするのは役員・雇用主で50.4%、正社員で44.5%、非正社員で23.9%となっている。非正社員の中では、契約社員・嘱託が37.3%と高い。

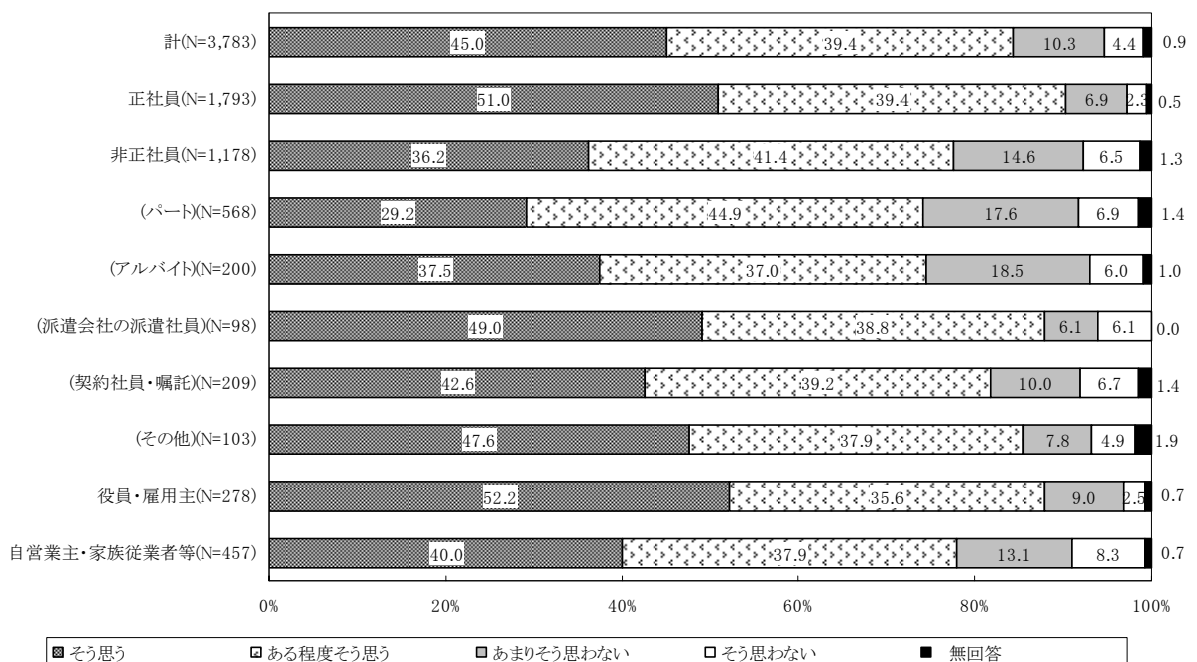
図表20 あたらしい能力や知識を身につける必要



仕事に役立つ能力や知識を高めること

仕事に役立つ能力や知識を高めたいかどうかについてみると、「そう思う」が45.0%、「ある程度そう思う」が39.4%と、合わせて約8割(84.4%)が高めたいと思うとしている。これ(「そう思う」+「ある程度そう思う」)を就業形態別にみると、正社員で90.4%、役員・雇用主で87.8%、非正社員では77.7%となっている。非正社員のうち、派遣社員では87.8%、契約社員・嘱託では81.8%などとなっている。

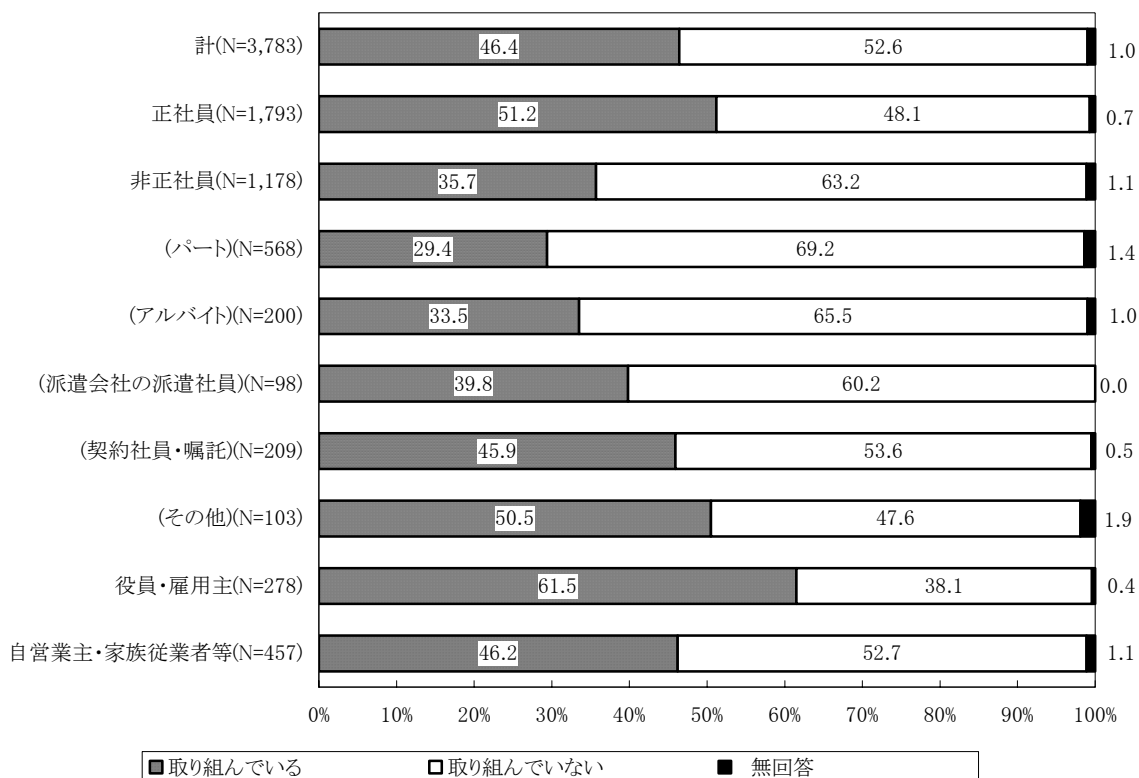
図表21 仕事に役立つ能力や知識を高めること



仕事に役立つ能力や知識を身につけるための取組み

仕事に役立つ能力や知識を身につけるためのふだんの取組みについてみると、「取り組んでいる」が46.4%、「取り組んでいない」が52.6%となっている。これを就業形態別にみると、「取り組んでいる」とするのは役員・雇用主で61.5%、正社員で51.2%、非正社員で35.7%となっている。

図表22 仕事に役立つ能力や知識を身につけるためのふだんの取組み



仕事に役立つ能力や知識を身につけるうえで困っていること

仕事に役立つ能力や知識を身につけるうえで困っていることをみると「特に困ったことはない」が39.0%と最も高い割合を示しているが、「仕事がいそがしくて時間がない」は30.3%、「研修・講座などを受ける費用が出せない」が12.6%などとなっている。正社員、役員・雇用主の困っていることとしては、「仕事がいそがしくて時間がない」（それぞれ41.4%、37.1%）、「研修・講座などを受ける機会が身近にない」（同14.0%、9.4%）などとなっている。

図表23 仕事に役立つ能力や知識を身につけるうえで困っていること（複数回答）

(%)

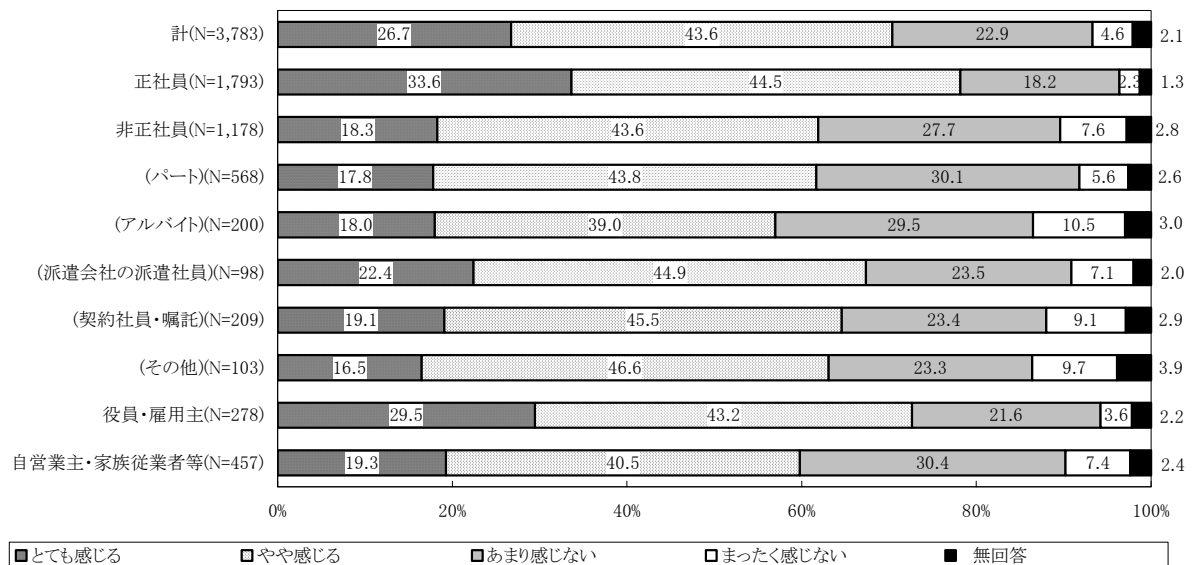
	総数	仕事がいそがしくて時間がない	家事・育児・介護など仕事以外のことがいそがしくて時間がない	あたらしい仕事や高度な仕事に接する機会がない	教えてくれる人がいない	研修・講座などを受ける機会が身近にない	研修・講座などを受ける費用が出せない	能力や知識を身につける方法がわからない	そもそも何をしたらよいかわからない	その他	特に困ったことはない
計	100.0(N=3,783)	30.3	11.6	11.6	6.0	11.3	12.6	3.3	5.0	1.9	39.0
正社員	100.0(N=1,793)	41.4	11.3	12.0	8.0	14.0	13.3	3.1	4.0	1.5	32.2
非正社員	100.0(N=1,178)	15.4	14.3	13.2	4.1	8.6	14.1	4.4	7.4	2.0	44.7
（パート）	100.0(N=568)	12.1	18.8	12.3	3.5	7.7	12.1	4.9	7.9	1.4	44.7
（アルバイト）	100.0(N=200)	12.0	9.0	12.0	5.0	7.0	15.5	6.5	7.5	2.0	54.0
（派遣会社の派遣社員）	100.0(N=98)	18.4	12.2	18.4	4.1	8.2	25.5	1.0	9.2	3.1	36.7
（契約社員・嘱託）	100.0(N=209)	24.4	7.7	13.4	5.3	13.9	14.4	4.8	7.2	2.4	41.1
（その他）	100.0(N=103)	19.4	14.6	14.6	2.9	5.8	10.7	-	2.9	2.9	41.7
役員・雇用主	100.0(N=278)	37.1	4.0	6.8	4.7	9.4	6.8	1.4	1.8	3.6	44.6
自営業主・家族従業者等	100.0(N=457)	22.3	10.5	9.6	4.2	9.2	9.6	2.2	4.6	2.4	48.1

(4) 仕事上の不安や悩み、ストレス

仕事上の不安や悩み、ストレス

仕事上の不安や悩み、ストレスについてみると、「とても感じる」が26.7%、「やや感じる」が43.6%となっており、合わせて約7割（70.3%）が仕事上の不安や悩み、ストレスを感じるとしている。これ（「とても感じる」+「やや感じる」）を就業形態別にみると、正社員では78.1%、役員・雇用主では72.7%となっており、非正社員は62.0%と、やや低い。

図表24 仕事上の不安や悩み、ストレス



仕事上の不安や悩み、ストレスを相談できる人

仕事上の不安や悩み、ストレスを相談できる人についてみると、「家族」が59.3%、友人が45.7%、先輩や同僚が30.8%などとなっている。年代別にみると、年代が低い方が「友人」とする割合が高く、20代では69.1%となっている。

図表25 仕事上の不安や悩み、ストレスを相談できる人（複数回答）

(%)

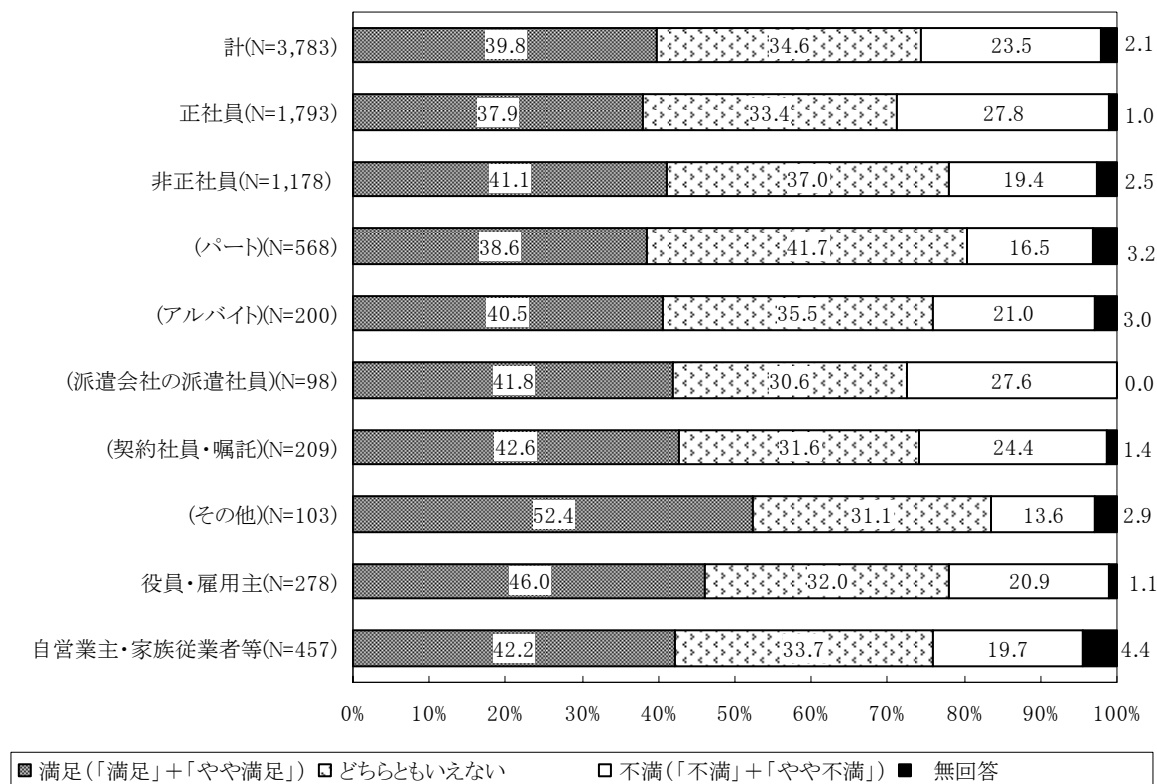
	総数	相談できる人はいない	家族（親、配偶者、子供など）	友人	上司	先輩や同僚	仕事上の知人や関係者	勤務先の医師・カウンセラー	勤務先以外の医師・カウンセラー	労働組合	社員会などの従業員組織	その他
計	100.0(N=3,783)	7.7	59.3	45.7	11.7	30.8	18.6	1.9	1.9	1.4	0.4	1.2
正社員	100.0(N=1,793)	9.3	58.1	43.4	17.0	40.5	15.4	3.4	2.0	2.2	0.4	0.8
非正社員	100.0(N=1,178)	4.6	57.1	54.2	9.8	31.2	19.9	0.7	1.1	0.5	0.5	1.4
（パート）	100.0(N=568)	2.5	60.0	53.9	9.2	32.6	18.5	0.9	0.5	0.7	0.5	0.9
（アルバイト）	100.0(N=200)	8.0	52.0	60.0	7.5	26.5	16.0	-	1.5	-	0.5	2.0
（派遣会社の派遣社員）	100.0(N=98)	5.1	49.0	68.4	7.1	29.6	20.4	1.0	3.1	-	-	-
（契約社員・嘱託）	100.0(N=209)	7.7	58.4	51.7	13.9	30.1	23.0	0.5	1.4	0.5	0.5	1.4
（その他）	100.0(N=103)	2.9	56.3	35.9	11.7	36.9	29.1	1.0	1.0	1.0	1.0	3.9
役員・雇用主	100.0(N=278)	10.1	65.8	33.5	1.1	5.0	27.7	-	4.0	0.7	-	1.8
自営業主・家族従業者等	100.0(N=457)	8.8	66.1	39.6	1.8	7.2	22.5	0.4	3.1	0.2	-	2.0
20代	100.0(N=517)	3.9	59.0	69.1	13.0	46.8	16.8	1.0	1.4	0.2	0.4	0.6
30代	100.0(N=786)	6.0	63.0	53.3	16.0	38.7	18.4	1.4	1.7	2.4	0.5	1.0
40代	100.0(N=944)	8.9	59.4	44.8	12.2	33.1	19.2	1.3	1.4	1.5	0.2	0.6
50代	100.0(N=1,059)	9.9	58.6	36.8	9.7	23.0	18.0	3.7	2.8	1.5	0.5	1.9
60代	100.0(N=477)	7.8	55.1	29.4	6.5	13.2	20.8	1.0	2.1	0.4	0.2	1.7

(5) 仕事についての満足度

今の仕事全体

今の仕事全体についての満足度をみると、「満足（『満足』+『やや満足』）」が39.8%となっている。これを就業形態別にみると、役員・雇用主では46.0%、非正社員では41.1%、正社員では37.9%となっている。

図表26 今の仕事全体についての満足度



性・年代別にみると、男性、女性とも満足とする割合は、60代で最も高く、20代で最も低くなっている。

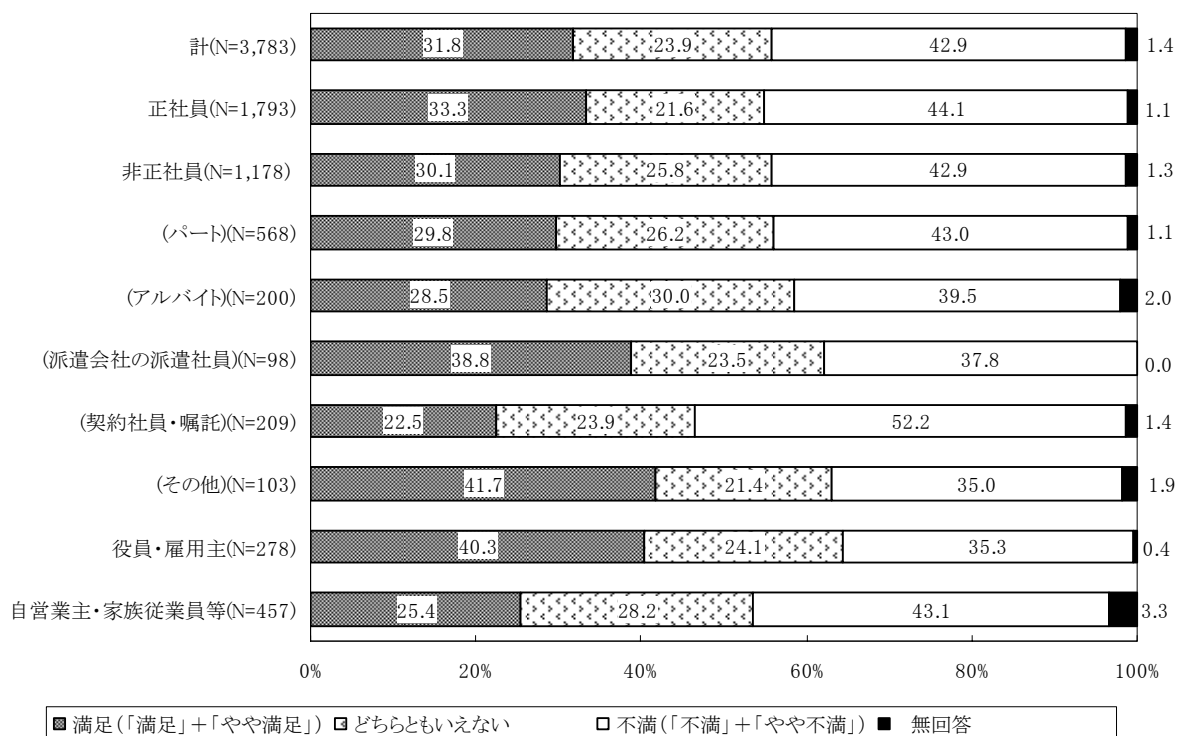
図表27 今の仕事全体についての満足度 (%)

		総数	満足（「満足」 +「やや満足」）	どちらともいえない	不満（「不満」 +「やや不満」）	無回答
男性	20代	100.0 (N=250)	28.0	37.6	32.4	2.0
	30代	100.0 (N=444)	33.3	33.3	32.9	0.5
	40代	100.0 (N=495)	33.1	37.4	28.3	1.2
	50代	100.0 (N=601)	43.1	31.4	24.5	1.0
	60代	100.0 (N=297)	48.8	31.3	14.1	5.7
	女性	20代	100.0 (N=267)	39.0	37.8	22.5
30代		100.0 (N=342)	43.3	34.8	20.2	1.8
40代		100.0 (N=449)	41.6	35.4	21.4	1.6
50代		100.0 (N=458)	43.4	36.0	17.0	3.5
60代		100.0 (N=180)	46.1	31.7	16.1	6.1

今の収入の水準

今の収入の水準についての満足度をみると、「不満（『不満』+『やや不満』）」が42.9%、「満足（『満足』+『やや満足』）」が31.8%となっており、不満の割合が満足の割合を上回っている。これを就業形態別にみると、役員・雇用主及び派遣社員では「満足（『満足』+『やや満足』）」（それぞれ40.3%、38.8%）が「不満（『不満』+『やや不満』）」（それぞれ35.3%、37.8%）を上回っているが、ほかの就業形態では「不満（『不満』+『やや不満』）」が「満足（『満足』+『やや満足』）」を上回っている。特に、非正社員のうち、契約社員・嘱託では、「不満（『不満』+『やや不満』）」が52.2%となっている。

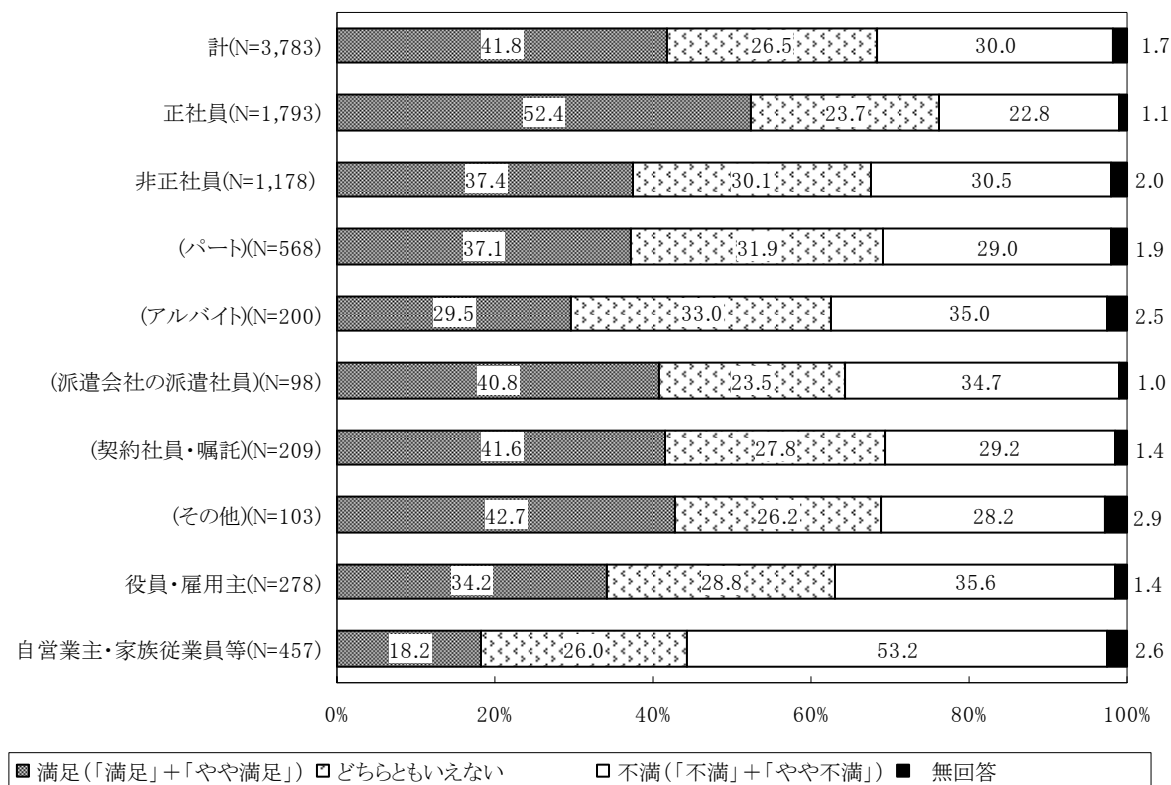
図表28 今の収入の水準についての満足度



収入の安定性

収入の安定性についての満足度をみると、「満足（『満足』+『やや満足』）」が41.8%となっている。これを就業形態別にみると、正社員では52.4%と半数以上となっているが、非正社員では37.4%、役員・雇用主では34.2%、自営業主・家族従業員等では18.2%と低い。

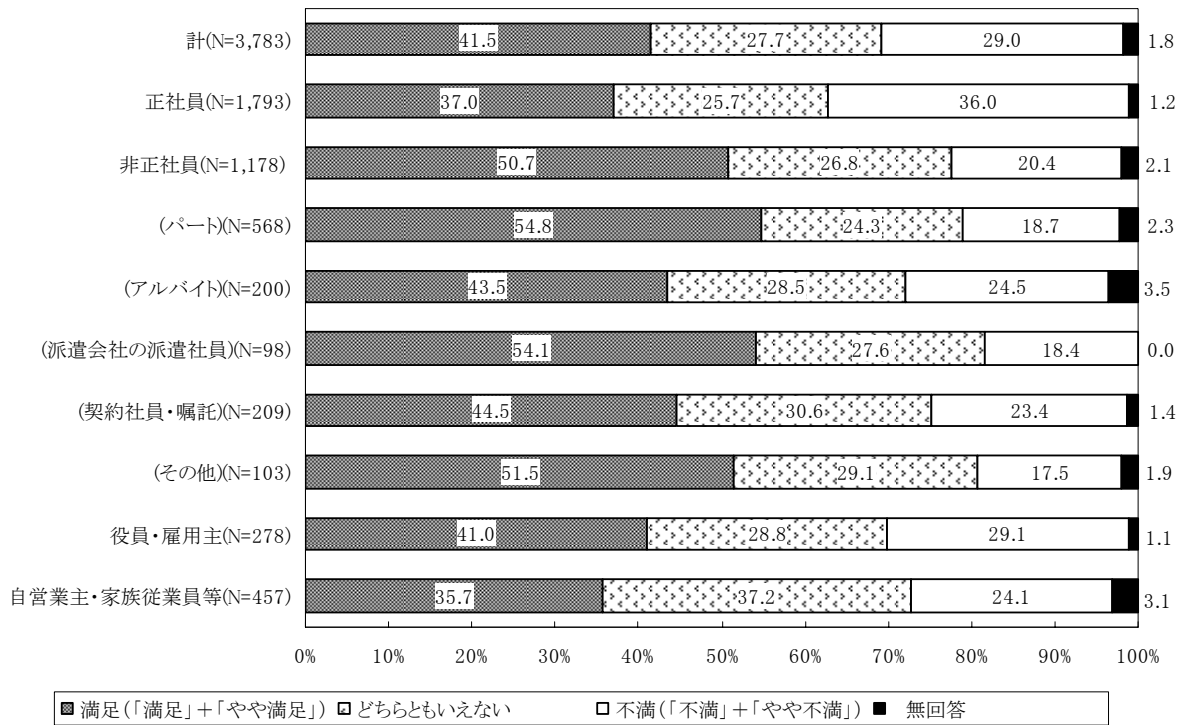
図表29 収入の安定性についての満足度



労働時間

労働時間についての満足度をみると、「満足（『満足』+『やや満足』）」が41.5%となっている。これを就業形態別にみると、非正社員で50.7%と半数以上が満足としている。特に、パートで54.8%、派遣社員で54.1%と満足とする割合が高くなっている。

図表30 労働時間についての満足度



性・年代別にみると、男性では年代が低いほど「満足 (『満足』 + 『やや満足』)」とする割合が低くなっている。

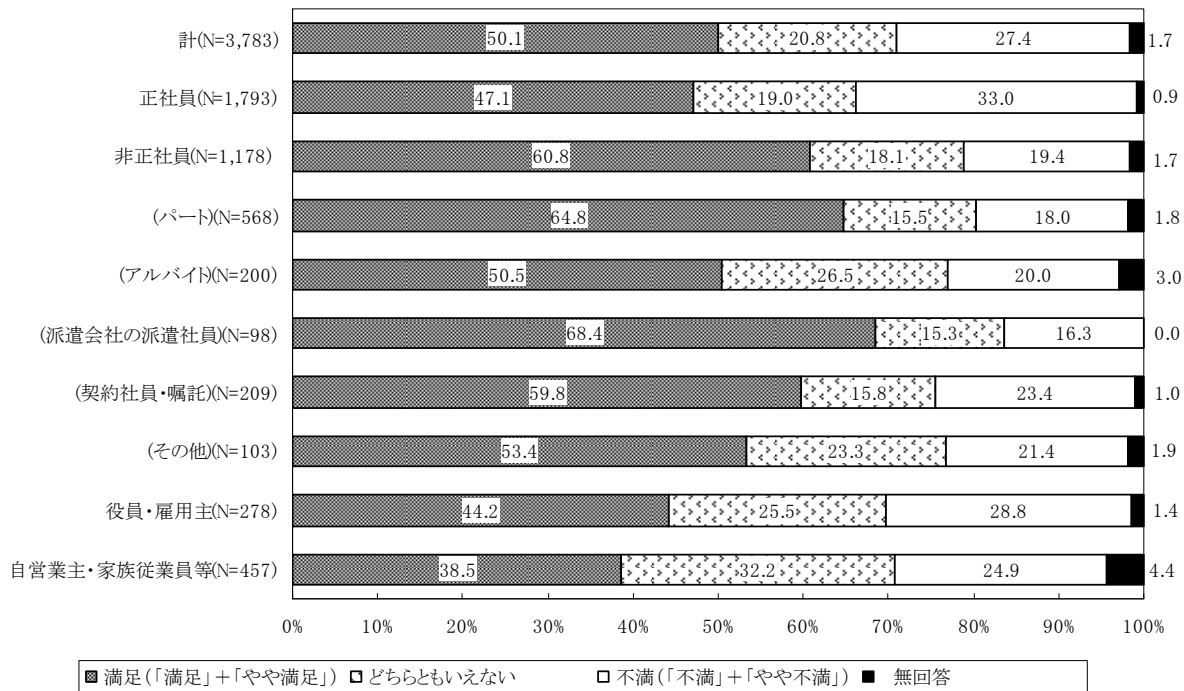
図表31 労働時間についての満足度 (%)

		総数	満足 (「満足」+「やや満足」)	どちらともいえない	不満 (「不満」+「やや不満」)	無回答
男性	20代	100.0 (N=250)	26.0	31.6	40.8	1.6
	30代	100.0 (N=444)	29.1	26.8	43.2	0.9
	40代	100.0 (N=495)	31.9	30.5	36.4	1.2
	50代	100.0 (N=601)	41.1	29.3	28.0	1.7
	60代	100.0 (N=297)	49.8	26.9	19.5	3.7
女性	20代	100.0 (N=267)	40.8	31.5	27.0	0.7
	30代	100.0 (N=342)	52.6	25.1	21.3	0.9
	40代	100.0 (N=449)	50.6	24.9	23.2	1.3
	50代	100.0 (N=458)	48.3	24.5	24.5	2.8
	60代	100.0 (N=180)	47.2	26.7	20.6	5.6

休日・休暇

休日・休暇についての満足度をみると、「満足（『満足』+『やや満足』）」が50.1%となっている。これを就業形態別にみると、非正社員では「満足（『満足』+『やや満足』）」とする割合が60.8%となっている。

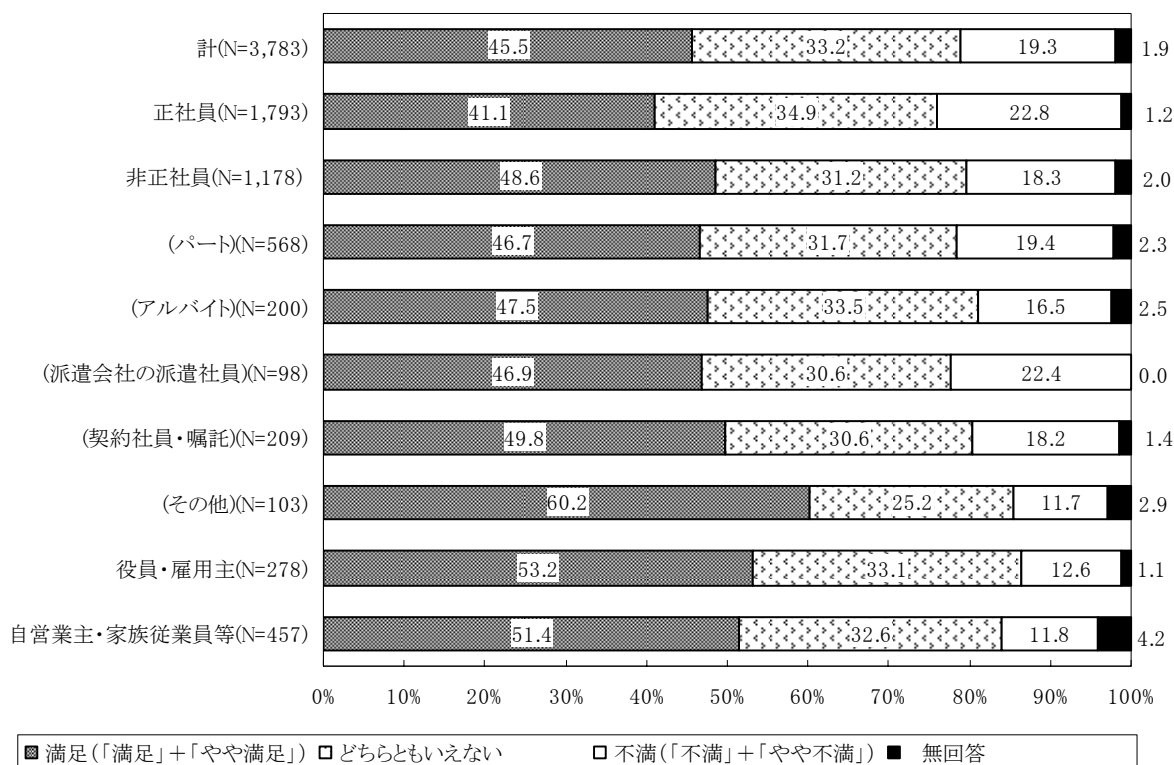
図表32 休日・休暇についての満足度



仕事内容

仕事内容についての満足度をみると、「満足（『満足』+『やや満足』）」が45.5%となっている。これを就業形態別にみると、役員・雇用主で53.2%、自営業主・家族従業員等で51.4%、非正社員で48.6%、正社員で41.1%となっている。

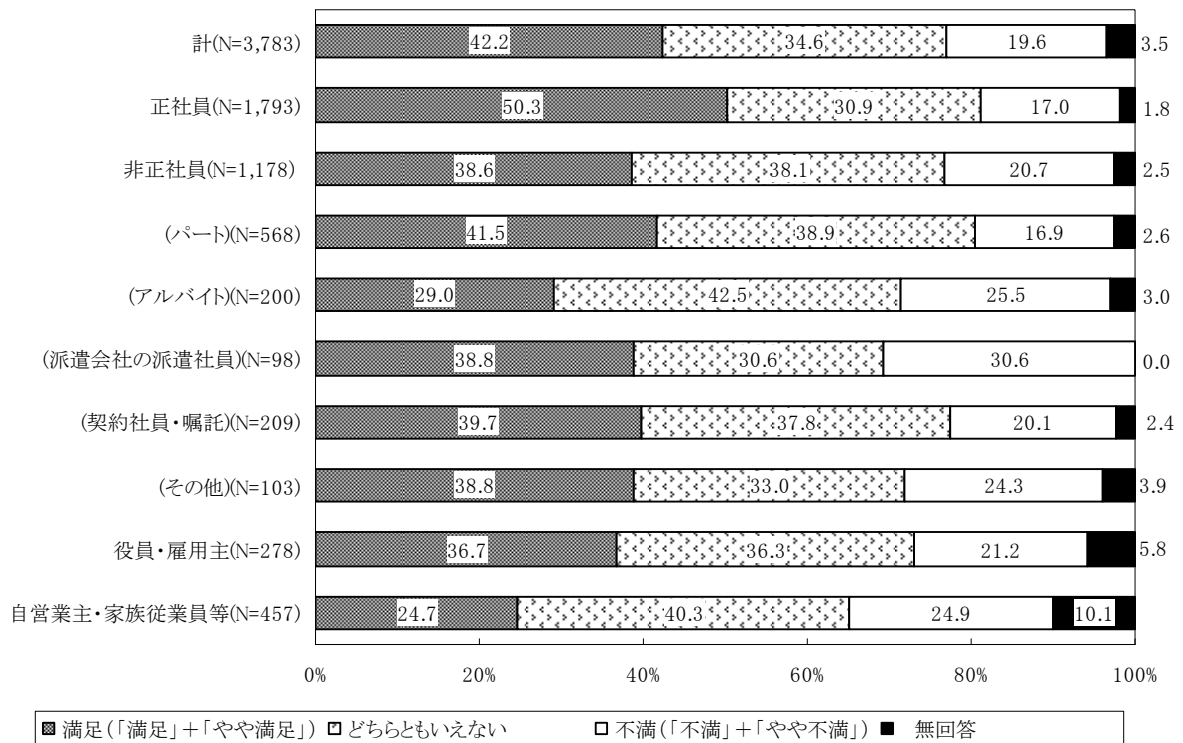
図表33 仕事内容についての満足度



雇用・就業の安定性

雇用・就業の安定性についての満足度をみると、「満足（『満足』+『やや満足』）」が42.2%となっている。就業形態別では、正社員では約半数（50.3%）が「満足（『満足』+『やや満足』）」としている。

図表34 雇用・就業の安定性についての満足度



3 ふだん仕事をしていない人についての状況

ふだん仕事をしていない人の約4割、20代では約7割が今後仕事につくことを希望している。また、約7割（仕事を希望するものに限ると約9割）が仕事のための能力等を高めたいとしている。仕事のための能力等を身につけるうえで困っていることとしては、「時間がない」、「費用がだせない」などとなっている。

ふだん、収入のある仕事をしていない人（無業者）は、全体の23.4%に当たる1,156人である。ここでは、無業者についてとりあげた。無業者の性・年代別の構成は図表35のとおりである。

図表35 無業者の基本属性
(%)

総数	100.0 (1,156人)	
男性	20代	3.7
	30代	2.2
	40代	1.7
	50代	4.6
	60代	9.0
女性	20代	6.2
	30代	18.9
	40代	12.3
	50代	20.0
	60代	21.5

(1) 今後の仕事の希望

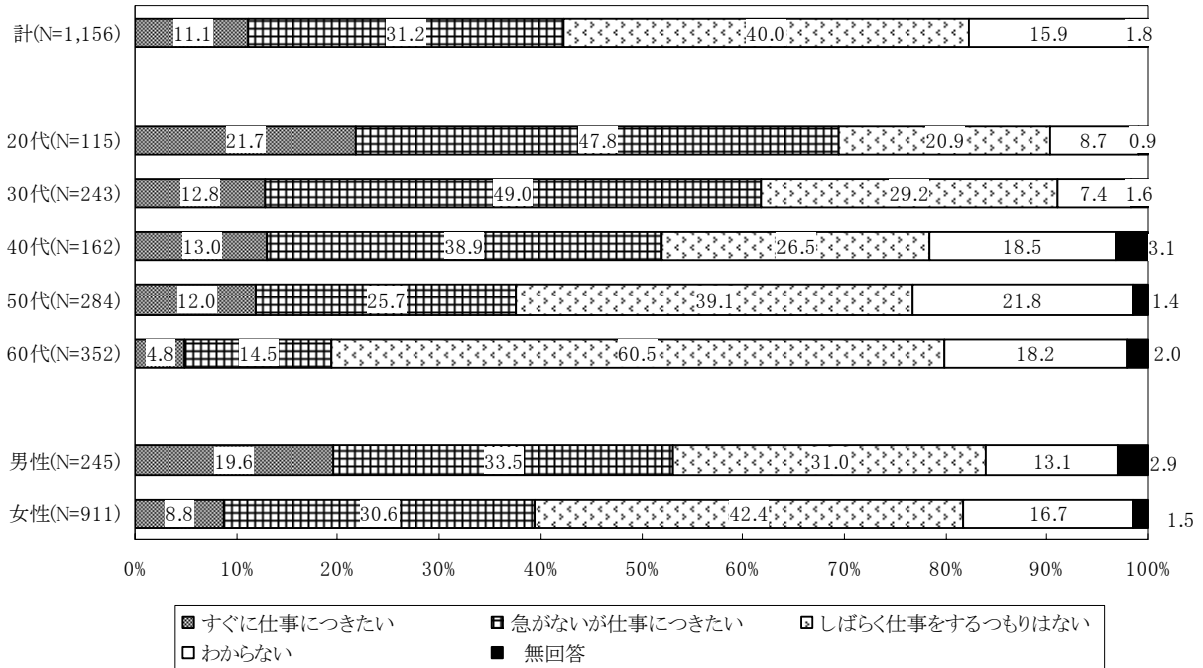
今後の仕事の希望

今後、収入のある仕事につきたいかどうかをみると、「急がないが仕事につきたい」が31.2%、「すぐに仕事につきたい」が11.1%となっており、ふだん仕事をしていない人の約4割は今後仕事につきたいとしている。

年代別にみると、20代では「すぐに仕事につきたい」が21.7%、「急がないが仕事につきたい」が47.8%と約7割が仕事をすることを希望している。また、30代では約6割、40代では約5割が仕事をすることを希望している。

性別にみると、男性では「すぐに仕事につきたい」が19.6%、「急がないが仕事につきたい」が33.5%と約5割が仕事をすることを希望しているが、女性では「すぐに仕事につきたい」が8.8%、「急がないが仕事につきたい」が30.6%となっている。

図表36 今後の仕事の希望



希望する就業のかたち

「すぐに仕事につきたい」、「急がないが仕事につきたい」と回答した者が希望する就業の形態をみると、「パート」が49.5%と最も高く、次いで「正規の職員・従業員」が27.0%となっている。

年代別にみると、20代では「正規の職員・従業員」が63.8%と最も高く、その他の年代層では「パート」が最も高くなっている。

性別にみると、男性では「正規の職員・従業員」が58.5%と最も高く、女性では「パート」が63.8%と最も高くなっている。

図表37 希望する就業のかたち（「すぐに仕事につきたい」、「急がないが仕事につきたい」と回答した者）

	総数	正規の職員・従業員	パート	アルバイト	派遣会社の派遣社員	契約社員・嘱託	自営業（人を雇っている）	自営業（人を雇っていない）	家族従業者	内職	その他	無回答
計	100.0(N=489)	27.0	49.5	8.8	2.0	2.5	0.4	2.2	0.6	4.3	1.0	1.6
20代	100.0(N=80)	63.8	23.8	8.8	-	-	-	1.3	-	1.3	1.3	-
30代	100.0(N=150)	22.7	56.0	4.7	6.0	0.7	1.3	2.7	1.3	2.7	1.3	0.7
40代	100.0(N=84)	17.9	61.9	8.3	-	1.2	-	3.6	-	3.6	1.2	2.4
50代	100.0(N=107)	25.2	49.5	8.4	-	4.7	-	0.9	0.9	7.5	0.9	1.9
60代	100.0(N=68)	7.4	50.0	19.1	1.5	7.4	-	2.9	-	7.4	-	4.4
男性	100.0(N=130)	58.5	10.0	18.5	-	7.7	-	2.3	-	0.8	-	2.3
女性	100.0(N=359)	15.6	63.8	5.3	2.8	0.6	0.6	2.2	0.8	5.6	1.4	1.4

(2) 仕事に役立つ能力や知識

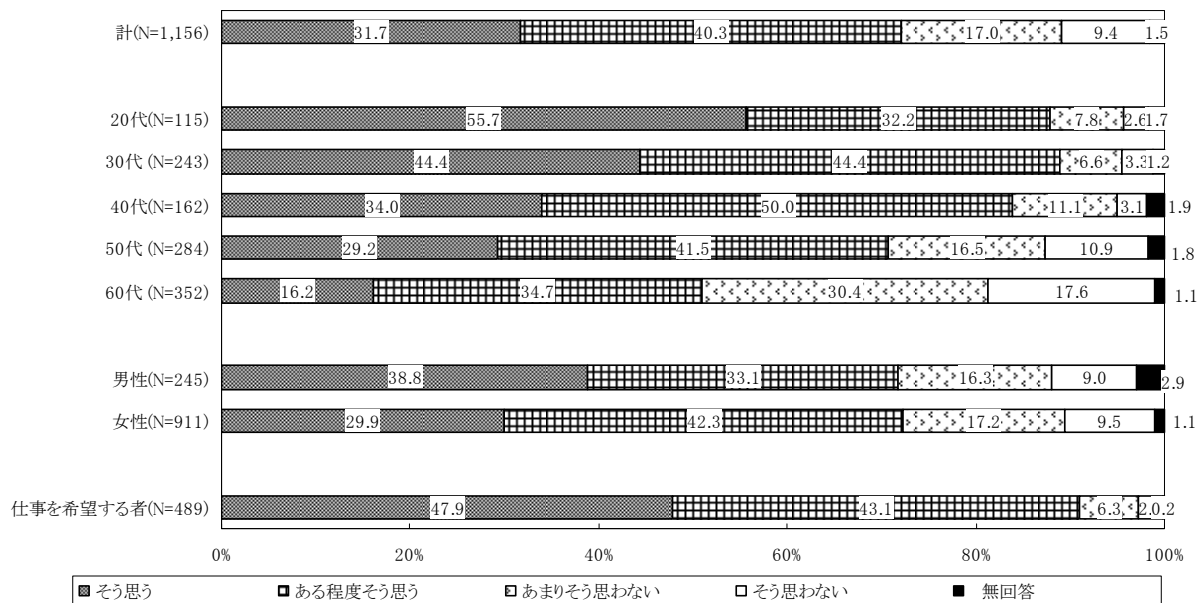
仕事に役立つ能力や知識を高めること

仕事に役立つ能力や知識を高めたいかどうかについてみると、「そう思う」が31.7%、「ある程度そう思う」が40.3%と約7割がそう思うとしている。「すぐに仕事につきたい」また

は「急がないが仕事につきたい」と回答した者に限ると、「そう思う」が47.9%、「ある程度
 そう思う」が43.1%となっている。

年代別にみると、20代及び30代では9割近くが「そう思う」又は「ある程度
 そう思う」としている。

図表38 仕事に役立つ能力や知識を高めること



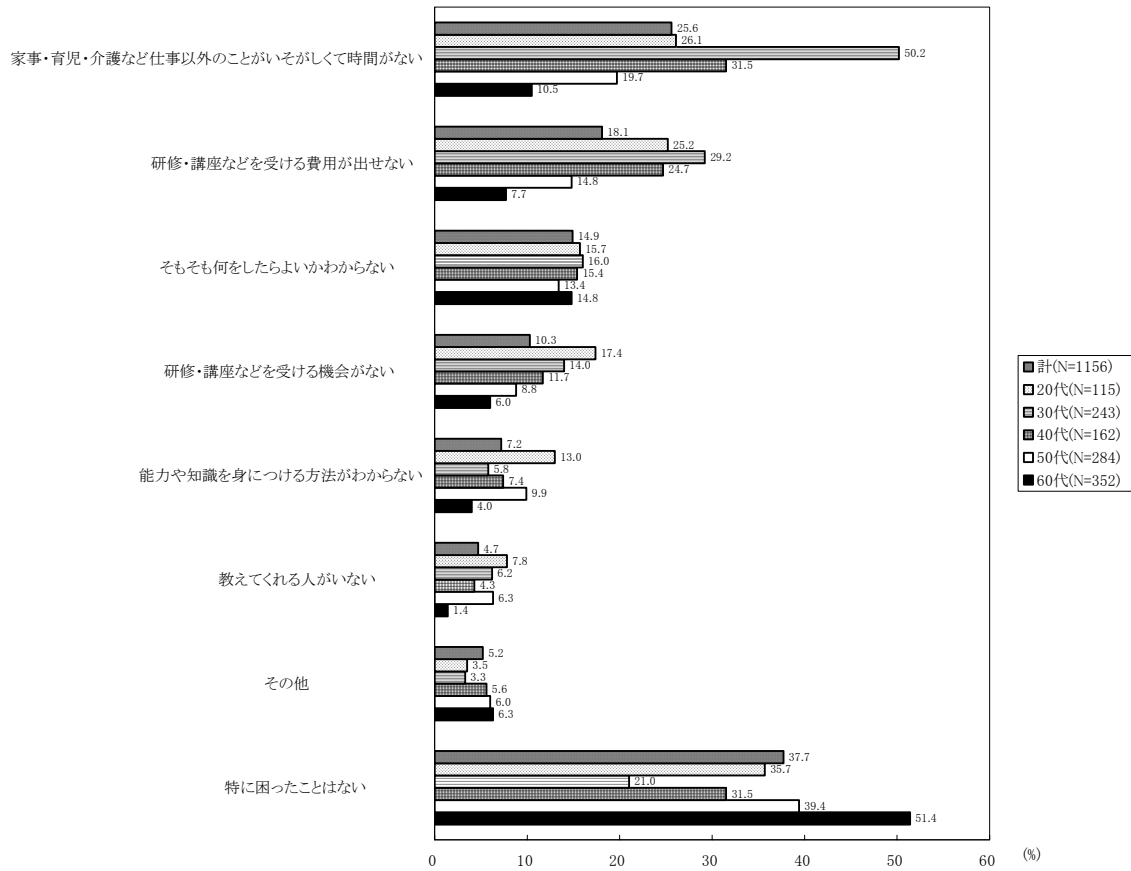
(注) 仕事を希望する者とは、今後の仕事の希望について「すぐに仕事につきたい」または「急がないが仕事につきたい」と回答した者。

仕事に役立つ能力や知識を身につけるうえで困っていること

仕事に役立つ能力や知識を身につけるうえで困っていることについてみると、「特に困ったことはない」が37.7%と最も高い割合を示しているが、「家事・育児介護など仕事以外のことがいそがしくて時間がない」が25.6%、「研修・講座などを受ける費用が出せない」が18.1%、「そもそも何をしたらよいかわからない」が14.9%などとなっている。

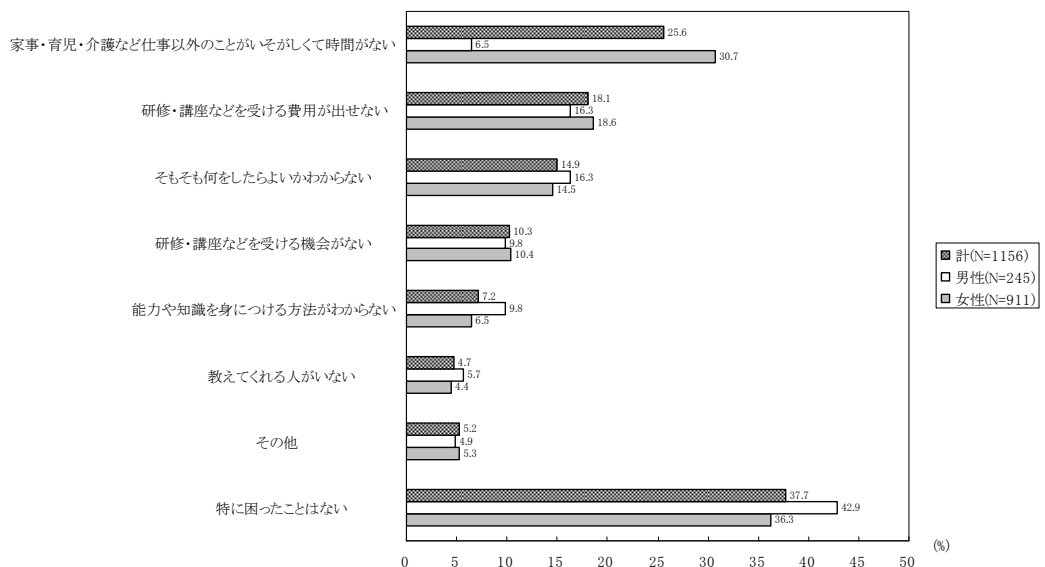
年代別にみると、30代では「家事・育児介護など仕事以外のことが忙しくて時間がない」が50.2%となっている。

図表39 仕事に役立つ能力や知識を身につけるうえで困っていること(複数回答)



性別にみると、女性では「家事・育児・介護など仕事以外のことがいそがしくて時間がない」が30.7%、「研修・講座などを受ける費用が出せない」が18.6%などとなっている。男性では「研修・講座などを受ける費用が出せない」及び「そもそも何をしたらよいかわからない」がそれぞれ16.3%となっている。

図表40 仕事に役立つ能力や知識を身につけるうえで困っていること(複数回答)



4 生活に対するセーフティネット、備え

現在の生活の備えについてみると、民間の生命保険には約 8 割、医療保険には約 7 割、個人年金には約 3 割が加入している。また仕事や生活の相談にのってもらうことを頼める人については「仕事関係の友人・知人」と「親」がそれぞれ約 3 割となっている。

今後の生活についてみると、老後生活の金銭面の余裕については半数以上が余裕がないとしている。将来のためにしていることは「ムダづかいをしない」、「お金を貯めている」、「生活費を節約する」などとなっている。また、将来の自分の生活については、約 6 割が不安であるとしている。その一方で、現在の自分の生活については、約半数が満足しているとしている。

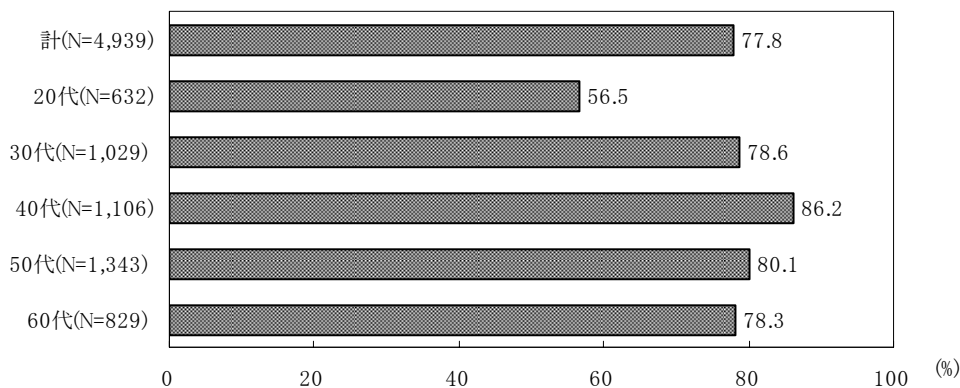
ここでは、仕事をしている、していないにかかわらず全員について、生活に対するセーフティネット、備えについての状況を取りあげた。

(1) 民間保険等への加入状況、社会保障制度についての理解

民間保険・年金への加入状況

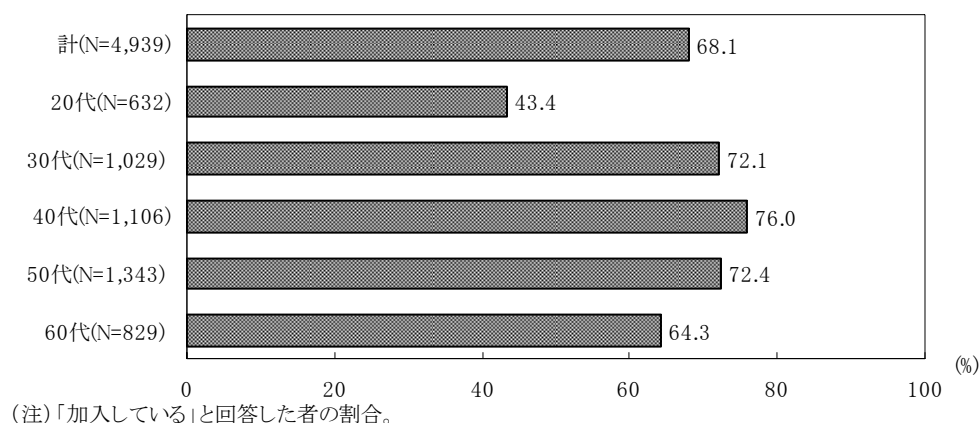
民間の保険・年金への加入状況を見ると、「加入している」とするのは、生命保険では 77.8%、医療保険では 68.1%、個人年金では 28.2%となっている。

図表41 生命保険への加入状況

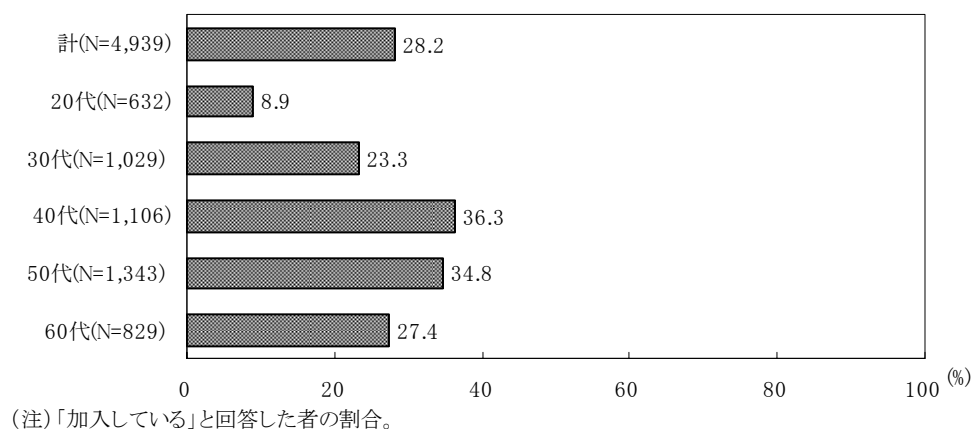


(注)「加入している」と回答した者の割合。

図表42 医療保険への加入状況



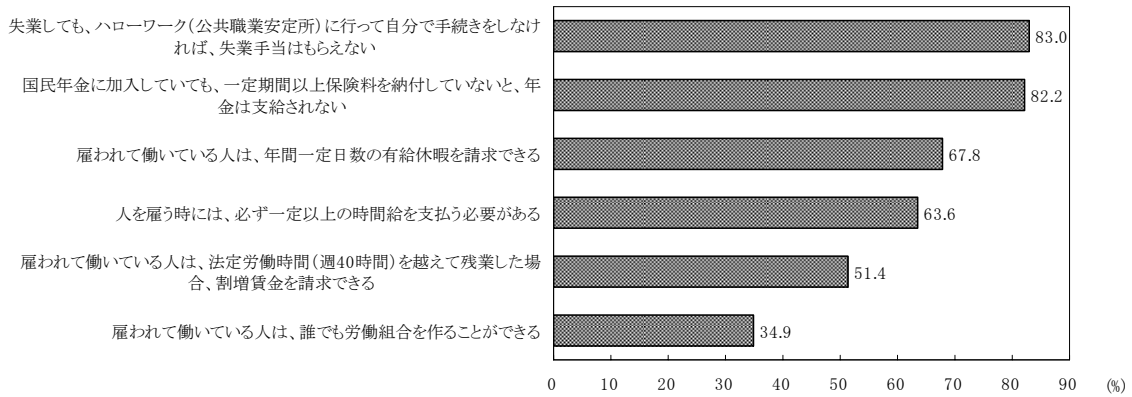
図表43 個人年金への加入状況



社会保障制度についての理解

社会保障制度についての理解についてみると、制度について知っていたとするのは、「失業しても、ハローワーク（公共職業安定所）に行って自分で手続きをしなければ、失業手当はもらえない」では 83.0%、「国民年金に加入していても、一定期間以上保険料を納付していないと、年金は支給されない」では 82.2%、「雇われて働いている人は、年間一定日数の有給休暇を請求できる」では 67.8%、「人を雇うときには、必ず一定以上の時間給を支払う必要がある」では 63.6%などとなっている。

図表44 社会保障制度についての理解(複数回答)(N=4,939)



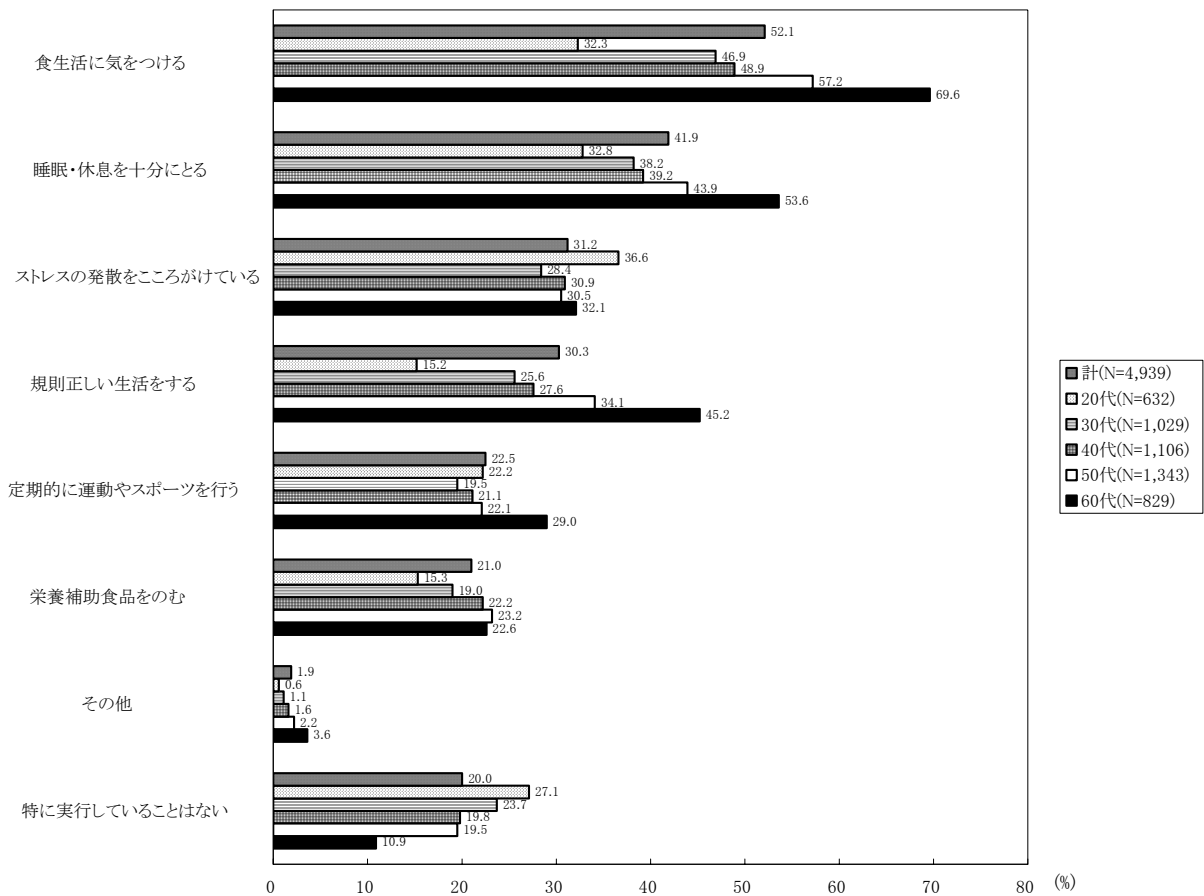
(注)各制度について、「知っていた事柄」として選択した回答者の割合。

(2) 現在の生活についてのセーフティネット、備え

健康のために実行していること

健康のために日頃から実行していることをみると、「食生活に気をつける」が 52.1%と最も高く、「睡眠・休息を十分にとる」が 41.9%、「ストレスの発散をこころがけている」が 31.2%、「規則正しい生活をする」が 30.3%などとなっている。

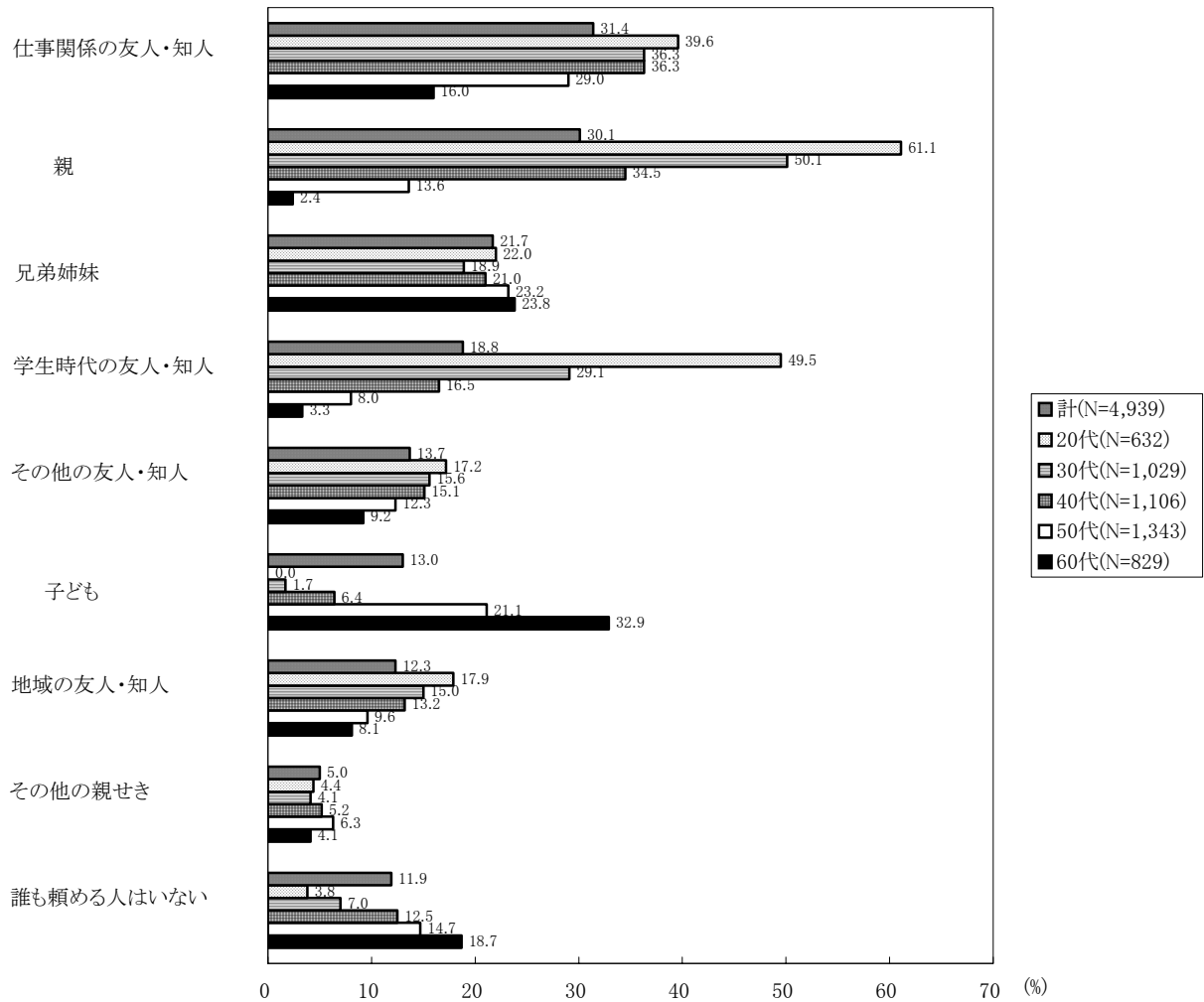
図表45 健康のために実行していること(複数回答)



仕事や生活について頼める人

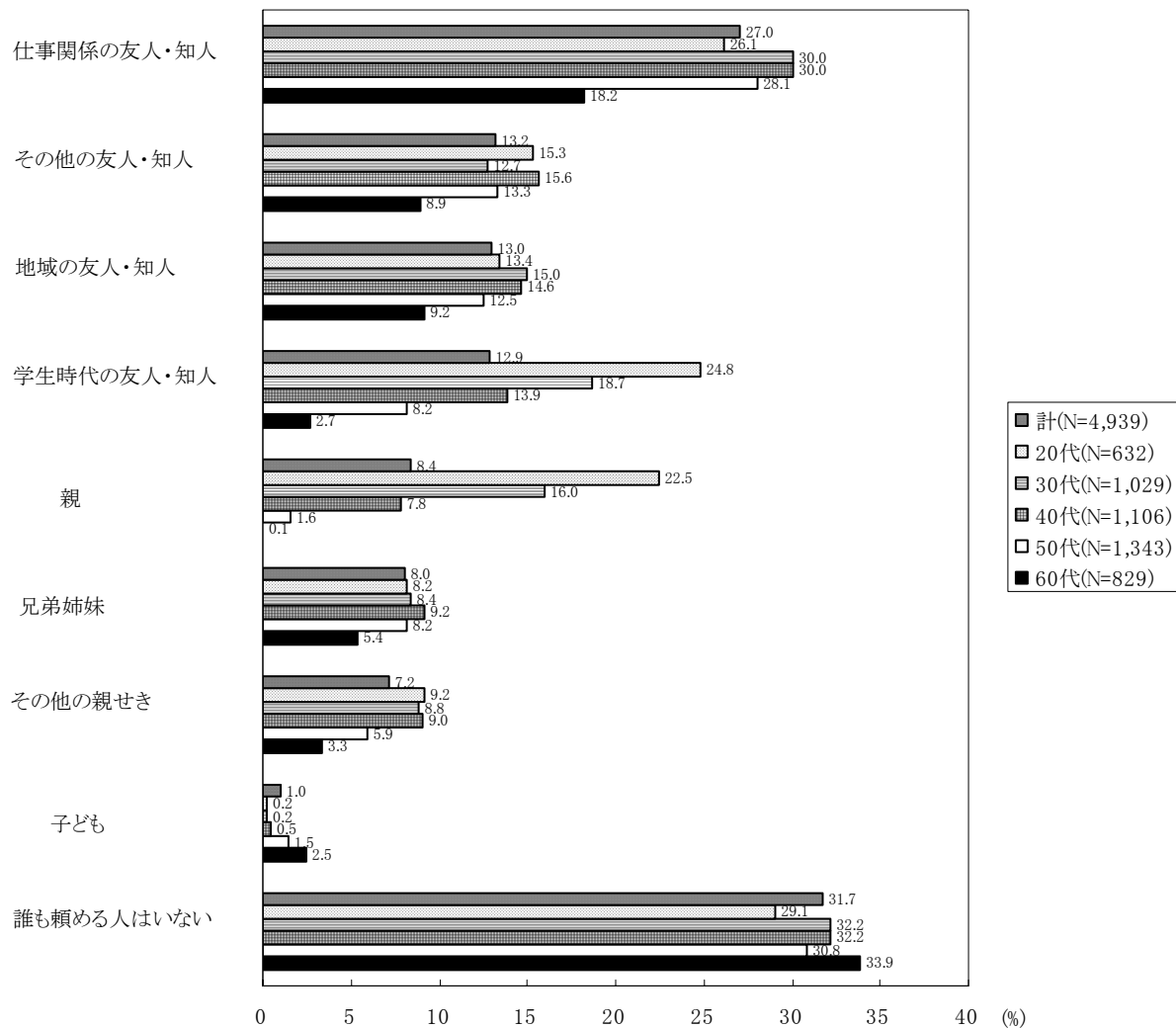
仕事や生活の相談にのってもらふことを頼める人についてみると、「仕事関係の友人・知人」が31.4%、「親」が30.1%となっている。

図表46 仕事や生活の相談にのってもらふことを頼める人(複数回答)



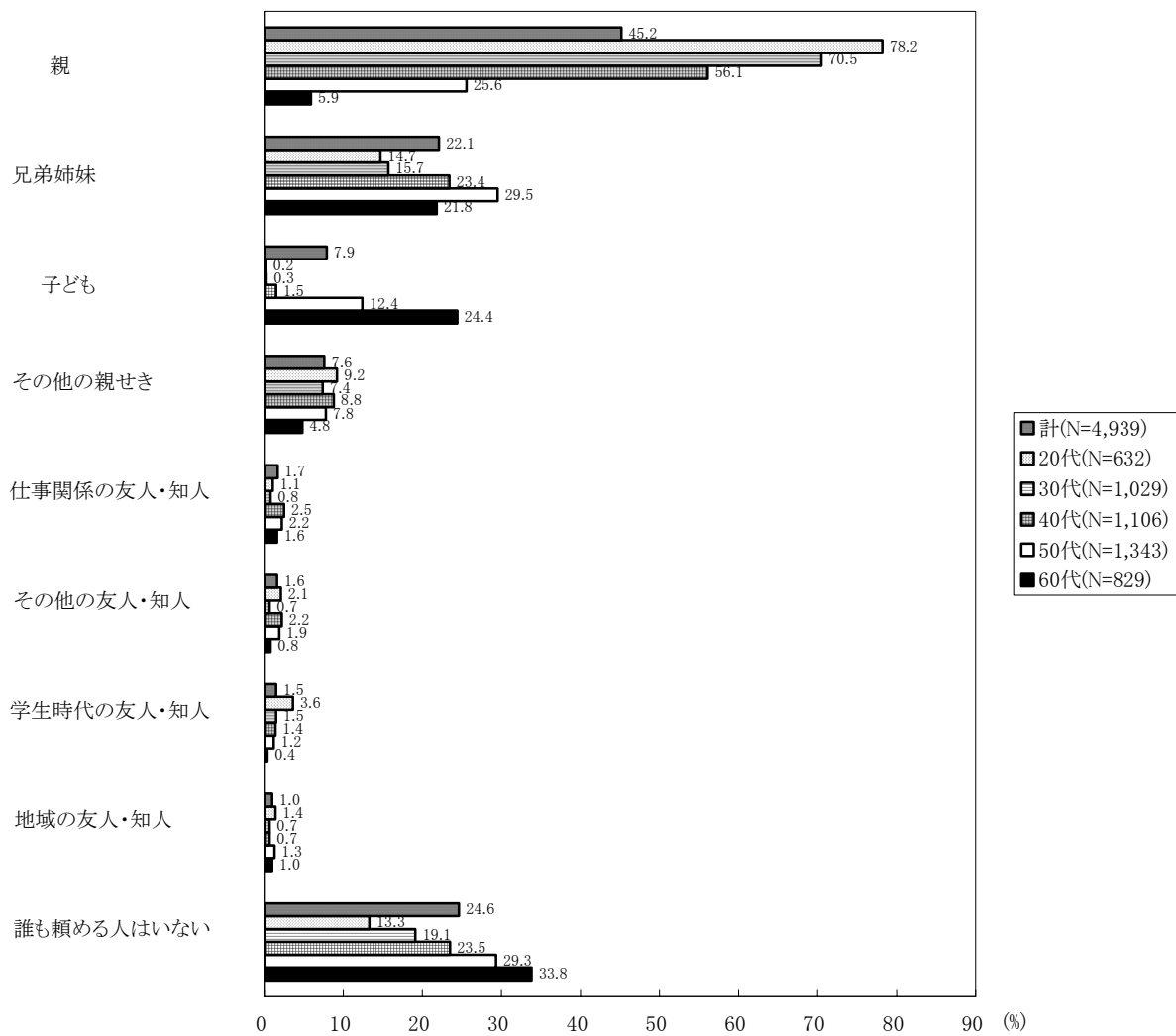
自分のために仕事を紹介してもらうことを頼める人については、「仕事関係の友人・知人」が27.0%、「誰も頼める人はいない」は31.7%となっている。

図表47 自分のために仕事を紹介してもらうことを頼める人(複数回答)



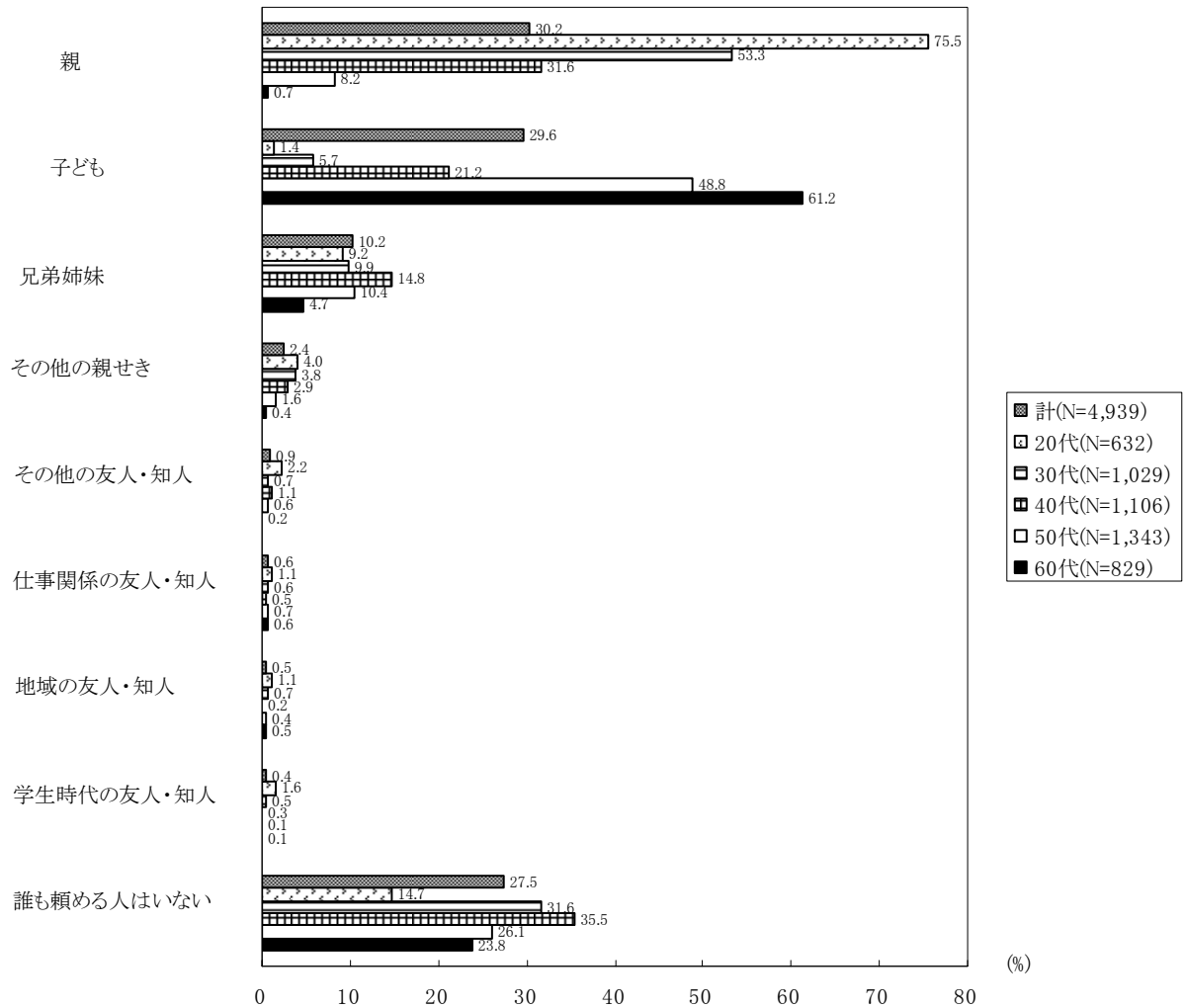
失業や病気でお金が必要になった時、まとまった金額を貸してもらうことを頼める人については、「親」が45.2%、「兄弟姉妹」が22.1%、「誰も頼める人はいない」は24.6%となっている。

図表48 失業や病気でお金が必要になった時、まとまった金額を貸してもらうことを頼める人(複数回答)



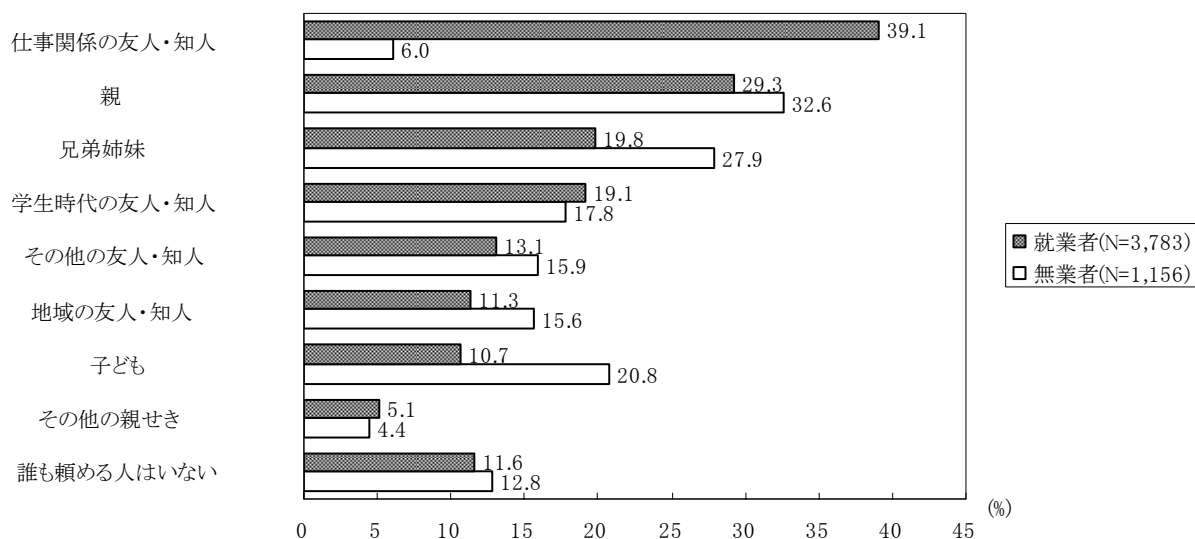
いざという時に自分を養ってもらうことを頼める人については、「親」が30.2%、「子ども」が29.6%、「誰も頼める人はいない」は27.5%となっている。

図表49 いざという時に自分を養ってもらうことを頼める人(複数回答)



また、仕事や生活の相談にのってもらうことを頼める人について、就業者、無業者別にみると、就業者では「仕事関係の友人・知人」が39.1%と最も高い。無業者では、「親」が32.6%、「兄弟姉妹」が27.9%、「子ども」が20.8%となっており、2親等以内を挙げる割合が就業者と比べて高くなっている。

図表50 仕事や生活の相談にのってもらうことを頼める人(複数回答)

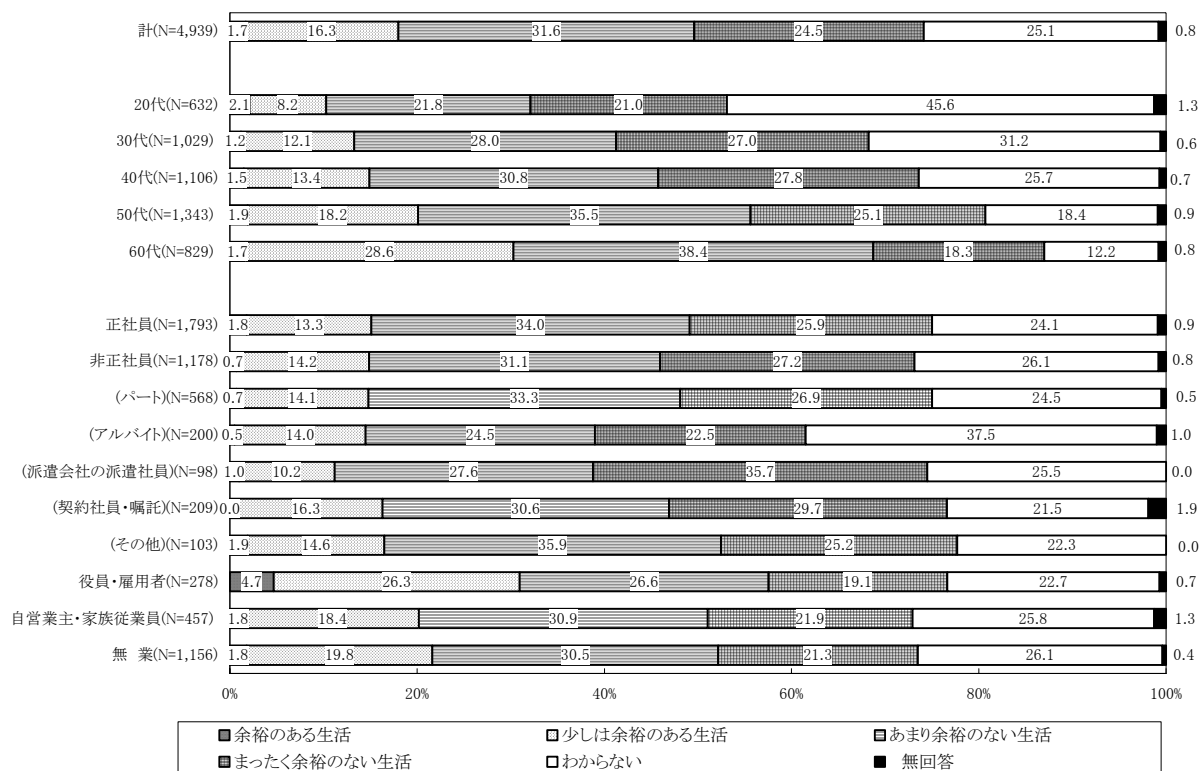


(3) これからの生活についてのセーフティネット、備え

老後生活の金銭面の余裕

老後生活の金銭面の余裕についてみると、「あまり余裕のない生活」が31.6%、「まったく余裕のない生活」が24.5%となっており、半数以上が余裕がないとしている。年代別にみると、30代以上の各層で半数以上が余裕がないとしている。就業形態別にみると、役員・雇用者では「余裕のある生活」が4.7%、「少しは余裕のある生活」が26.3%と相対的に高く、一方余裕がない(「あまり余裕のない生活」+「まったく余裕のない生活」)とする割合は、45.7%と半数を下回っている。

図表51 老後生活の金銭面の余裕



将来のためにしていること

自分や家族の将来のためにしていることをみると、「ムダづかいをしない」が44.9%、「毎月積み立てるなど、将来のためにお金を貯めている」が34.7%、「生活費を節約する」が34.4%などとなっている。

就業形態別にみると、「ムダづかいをしない」、「生活費を節約する」については、非正社員や自営業主・家族従業者等の方が正社員や役員・雇用主と比べて高くなっているが、「毎月積み立てるなど、将来のためにお金を貯めている」は、正社員や役員・雇用主の方が非正社員や自営業主・家族従業者等と比べて高くなっている。

年代別にみると、30代以上では年代が高いほど、「ムダづかいをしない」や「生活費を節約する」とする割合が高くなっている。逆に30代以上では年代が低いほど「毎月積み立てるなど、将来のためにお金を貯めている」の割合が高くなっている。

図表52 自分や家族の将来のためにしていること（複数回答）

(%)

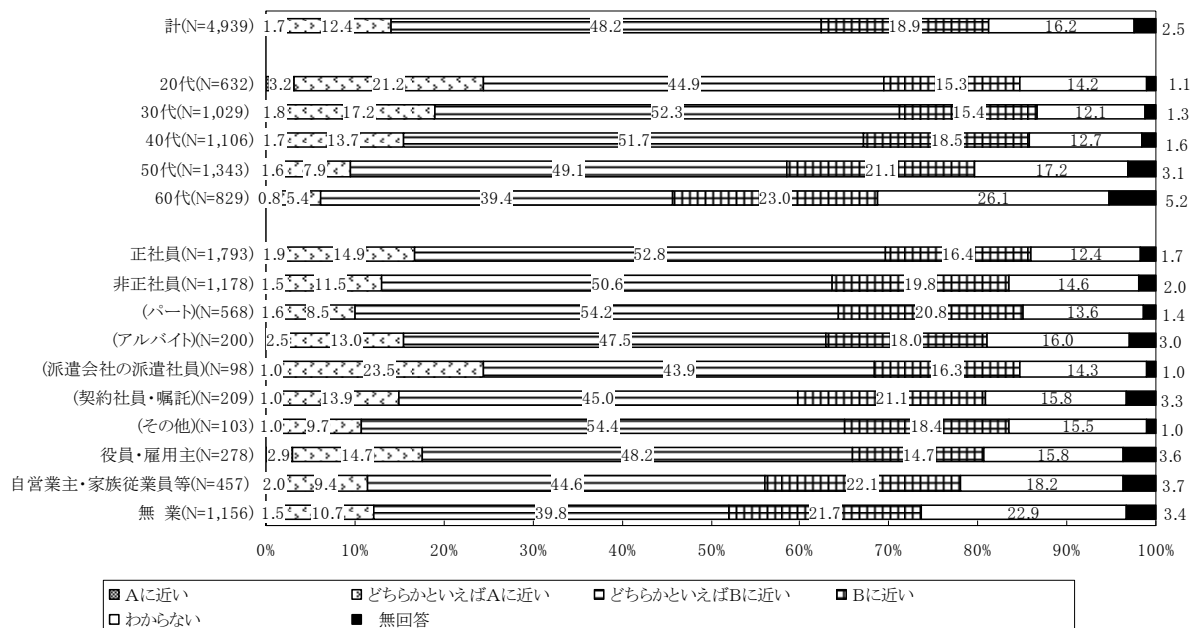
	総数	生活費を節約する	ムダづかいをしない	毎月積み立てるなど、将来のためにお金を貯めている	日頃から、仕事や転職に役立つ勉強をしている	仕事関係の人脈づくりにはげんでいる	仕事以外の集まりに積極的に参加し、人脈づくりにはげんでいる	スポーツや運動をするなど、健康づくりにはげんでいる	特になにもしていない	無回答
計	100.0(N=4,939)	34.4	44.9	34.7	5.7	7.5	9.3	16.5	21.9	1.2
20代	100.0(N=632)	22.8	32.4	32.6	8.5	9.0	9.2	15.0	28.3	1.7
30代	100.0(N=1,029)	32.0	40.6	39.8	8.9	9.2	9.1	12.5	22.9	1.2
40代	100.0(N=1,106)	33.4	42.0	38.3	5.8	7.7	8.5	14.5	21.7	0.8
50代	100.0(N=1,343)	38.3	48.7	34.1	3.6	6.5	8.2	17.1	21.7	1.2
60代	100.0(N=829)	41.3	57.4	25.9	2.9	5.4	12.7	24.4	16.3	1.4
正社員	100.0(N=1,793)	26.9	37.8	40.2	6.2	8.9	7.8	15.8	24.9	1.4
非正社員	100.0(N=1,178)	37.3	46.8	33.4	5.8	5.7	9.3	12.5	21.1	1.1
（パート）	100.0(N=568)	42.3	48.2	36.8	4.4	3.7	7.7	12.7	18.7	0.9
（アルバイト）	100.0(N=200)	31.0	46.0	27.0	8.5	7.0	11.5	10.0	25.5	2.0
（派遣会社の派遣社員）	100.0(N=98)	35.7	42.9	33.7	5.1	6.1	7.1	14.3	20.4	1.0
（契約社員・嘱託）	100.0(N=209)	33.0	45.0	30.6	5.3	5.7	10.0	12.0	23.4	1.4
（その他）	100.0(N=103)	32.0	47.6	32.0	9.7	13.6	13.6	15.5	21.4	-
役員・雇用主	100.0(N=278)	20.5	32.7	39.9	6.8	18.7	13.3	17.3	27.0	1.8
自営業主・家族従業員等	100.0(N=457)	39.4	50.5	29.1	4.2	13.3	12.0	19.9	19.7	1.3
無業	100.0(N=1,156)	44.5	55.1	28.2	5.3	2.1	10.0	20.1	17.7	0.9

(4) 生活全般についての考え方

仕事についての考え方

仕事についての考え方をみると、「A 収入は多いが、長く続けられるかわからない仕事につきたい」、「B 収入は少ないが、長く続けられる仕事につきたい」については、「B に近い」が 18.9%、「どちらかといえば B に近い」が 48.2% となっており、長く続けられる仕事につきたいとするものが約 7 割となっている。また、いずれの年代及び就業形態でも長く続けられる仕事につきたいとするものが 6 割を超えている。なお、年代が低い方が、収入は多いが長く続けられるかわからない仕事につきたい（「A に近い」及び「どちらかといえば A に近い」）とする割合が高くなっている。

図表53 仕事についての考え方
（A収入は多いが、長く続けられるかわからない仕事につきたい／B収入は少ないが、長く続けられる仕事につきたい）



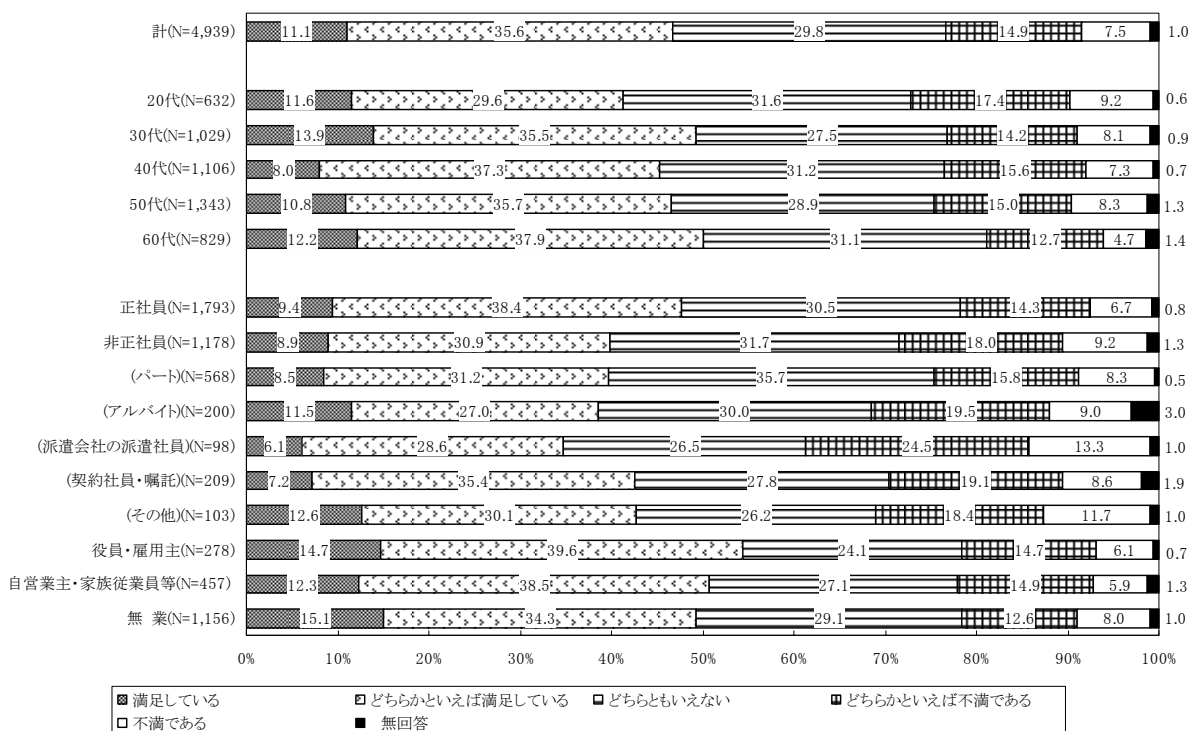
生活についての満足度

現在の自分の生活の満足についてみると、「満足している」が11.1%、「どちらかといえば満足している」が35.6%となっており、満足しているとするものが約半数となっている。

年代別にみると、20代では「不満である」が9.2%、「どちらかといえば不満である」が17.4%と他の年代と比較して不満であるとする割合が高い。

就業形態別にみると、非正社員では他の就業形態と比べて満足しているとする割合が低く、不満であるとする割合が高くなっている。また、非正社員のうち派遣社員では、不満とするものが満足とするものを上回っている。

図表54 生活についての満足度



将来の生活についての不安

将来の自分の生活の不安についてみると、「とても不安である」が19.8%、「少し不安である」が39.4%となっており、不安であるとする者が約6割となっている。年代別にみると、40代で「とても不安である」が22.1%、「少し不安である」が43.5%と他の年代と比較して不安であるとする割合が高くなっている。

就業形態別にみると、非正社員では他の就業形態と比較して、不安であるとする割合が高く、特に、非正社員のうち派遣社員や契約社員・嘱託で高い。

図表55 将来の生活についての不安

